

農 業 経 営 診 断

システム利用マニュアル

都道府県の農業経営・就農支援センター
及び

農業経営人材育成に向けた官民協議会構成員団体用

第1.2.0版

農林水産省 令和6年度経営発展・就農促進委託事業実施主体

農業経営診断ツール研究・開発プロジェクトチーム

農業経営診断システム利用マニュアル改訂履歴

No.	版	更新日	内容	更新者
1	1.0.0	2024/12/16	初版	システム設計・構築事業者
2	1.1.0	2025/1/20	仕様修正・バグ修正に伴う改訂	システム設計・構築事業者
3	1.2.0	2025/3/3	ユーザーマスタ管理システムとの連携	システム設計・構築事業者

目次

目次	1
1 概要	3
(1) 概要	3
(2) 想定している利用者	3
2 本システム利用にあたって用意するもの.....	4
3 動作環境.....	4
4 経営診断システムの全体イメージ図と利用の流れ	5
5 アカウントの取得.....	6
6 ログイン・ログアウトの操作	7
(1) ログインの方法.....	7
(2) ログアウトの方法.....	9
7 新たに経営診断を開始する	11
(1) 診断機能について	11
(2) 各種診断機能の関係	12
7-1 予備診断書	13
7-2 財務分析シート	26
(1) 財務分析シート（個人用）	27
(2) 財務分析シート（法人用）	30
7-3 機能別チェックリスト.....	33
7-4 本診断書.....	36
(1) 本診断書（簡易版）	37
(2) 本診断書（詳細版）	39
7-5 総合診断書	42

8	過去の経営診断を活用する	46
	(1) 既存データの検索・修正	46
	(2) 既存データを複写して新たに診断 ※予備診断書・財務分析シート のみ複写	49
9	用語説明	51

1 概要

※本利用マニュアルでは、都道府県農業経営・就農支援センター及び「農業経営人材の育成に向けた官民協議会」構成員の都道府県団体に所属する専門家等（以下「ユーザー」といいます。）を対象としています。

（1）概要

農業経営診断システムは、農業者からの経営相談を受けた専門家等が、相談者へのヒアリングや決算書などで把握した相談者の経営関連情報を入力することで、簡易な経営診断の結果が表示され、相談者への改善提案等に活用することができるシステムです。

予備診断書、財務分析シート、機能別チェックリスト、本診断書、総合診断書の5つから構成されており、経営の機能ごとの評価や目指すべき農業経営の姿などの提案支援を受けることができます。

（2）想定している利用者

農業者からの相談を受け経営改善の支援を行う専門家等

- ・ 都道府県の農業経営・就農支援センターの登録専門家及びスタッフ
- ・ 都道府県の普及指導員
- ・ JA の営農指導員
- ・ 本システムから利用登録した中小企業診断士 など

2 本システム利用にあたって用意するもの

本システムでは、経営診断に必要な様々な経営情報を入力して診断を進めていきます。そのため、以下の資料等を相談者に事前に用意してもらうことで、円滑に経営診断を進めていくことができます。

(事前に用意すべき資料)

- ◎ 決算書（損益計算書、貸借対照表、製造原価報告書、青色申告決算書、収支内訳書等）
- 経営（事業）計画書、栽培計画書、飼養計画書等
- 農業経営基盤強化促進法に基づく認定を受けた農業経営改善計画書
- 日本政策金融公庫の借入申込希望書兼経営改善資金計画書 など

※上記の「◎」は必須資料、「○」はあればご用意いただきたい資料です。

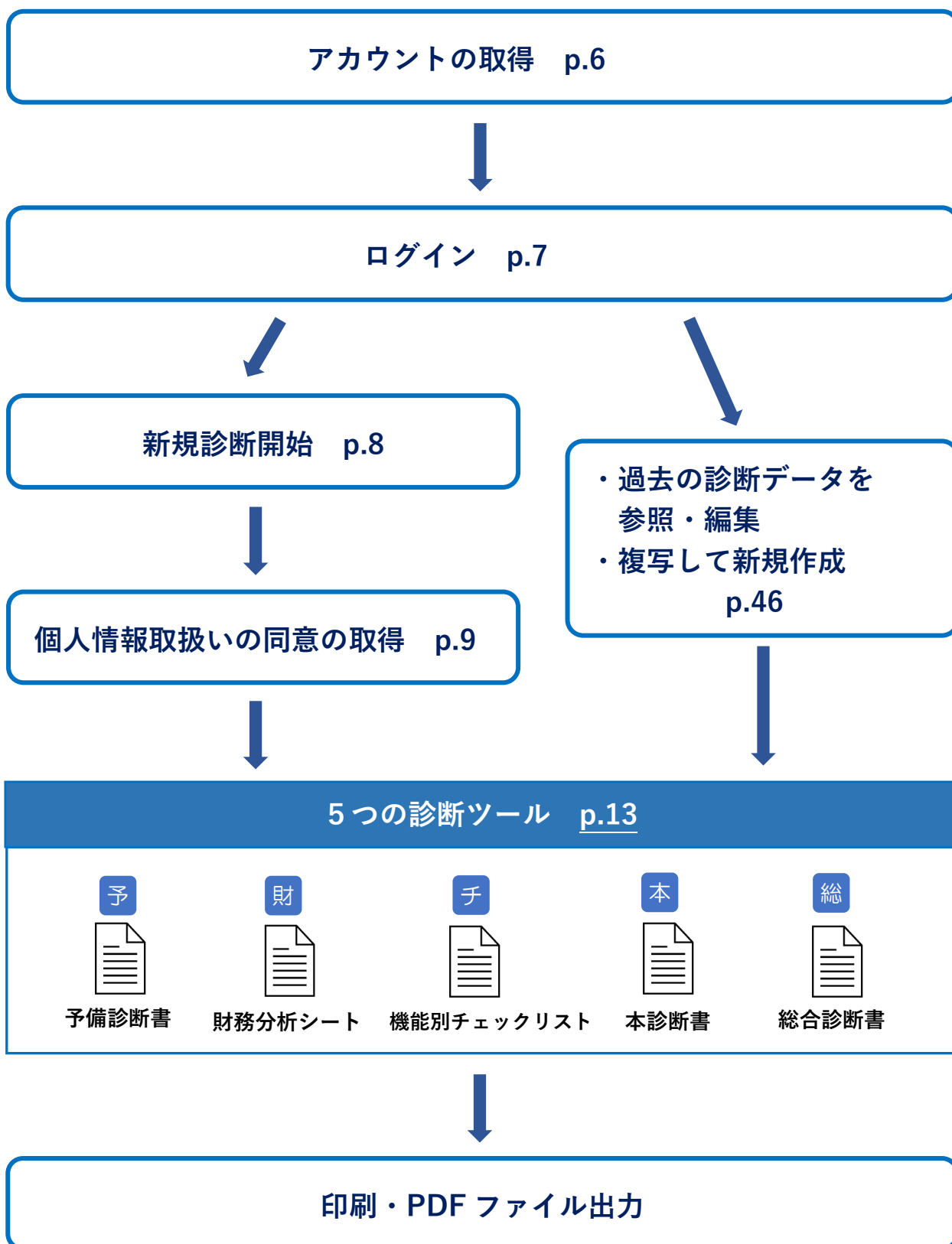
※本システムでは、利用開始前に「個人情報取扱いに関する同意書」の内容を確認いただいた上で、署名いただき、その書類をスキャンし、本システムへアップロードする必要があります。詳細は、[p.11「個人情報の取扱い」の確認とアップロード](#)をご参照ください。

3 動作環境

推奨環境される動作環境は以下のとおりです。

デバイス	OS	ブラウザ
パソコン	Windows10/11	Google Chrome
	macOS 13 以降	Safari、Google Chrome

4 経営診断システムの全体イメージ図と利用の流れ



5 アカウントの取得

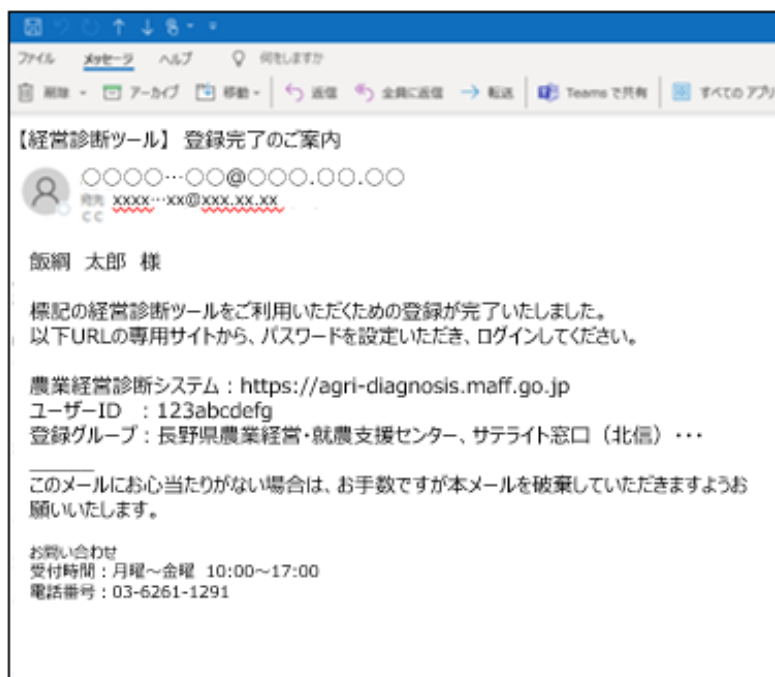
- ① ユーザーは、本システムを利用するため、所属する団体の「ユーザーマスタ管理者」（以下「管理者」といいます。）に対して、アカウントの登録を依頼します。
依頼に当たっては、ユーザーの氏名、所属、メールアドレス、電話番号が必要となります。

※ 管理者が、ユーザーの情報共有範囲（ユーザー・グループ）を設定してアカウント登録することで、団体の特定のユーザー・グループ内で当該団体の他ユーザーが作成した診断情報等を共有（閲覧・編集）することが可能になります。

- ② 管理者によるアカウント登録が完了すると、登録されたメールアドレスに宛てに「登録完了のご案内」が本システムのメールアドレス（agri-mgmt-contact02@j-pao.org）から送付されますので、メール記載の手順に従って、パスワードの設定を行ってください。

なお、当該メールからのパスワード設定は、メールが送付された日時から 72 時間以内に行ってください。72 時間を過ぎると当該メールからのパスワード設定ができなくなるため、その場合は管理者へご連絡いただき、やり直してください。

アカウント情報送付メール



- ③ アカウントを取得した後、本システムの TOP 画面（<https://agri-diagnosis.maff.go.jp/>）から「ユーザーID」と「パスワード」を入力することで、ログインできます。
なお、パスワードはログイン画面から変更することができます。

6 ログイン・ログアウトの操作

◆本システム利用における注意事項

経営診断に必要となる経営情報について、すべての項目を一度に入力することが難しい場合などがあるため、利用者が画面右下にある「登録して次へ」「結果を表示する」「内容を」をクリックすることで、入力したデータを本システムに一時保存できます。

保存したデータは検索画面から呼び出すことで、過去の入力内容の確認や再編集を行うことができます。

なお、入力の途中で、以下のような操作をした場合は、入力したデータがシステムに保存されないため、ご注意ください。

- ・ブラウザの「戻る」を押す
- ・ブラウザを閉じる
- ・ブラウザを再読み込みする

※**入力操作を続けていても、同一画面を連続して 60 分以上表示させた場合、自動的にタイムアウトになるため、こまめに「登録して次へ」をクリックして、一時保存してください。**

(1) ログインの方法

- ① 農業経営診断システムの TOP 画面 (<https://agri-diagnosis.maff.go.jp/>) にアクセスしてください。
- ② ユーザーID とパスワードを入力してログインしてください。

農業経営診断システム

農業経営診断システムとは | 利用マニュアル (PDF) | よくあるご質問 [お問い合わせ](#)

農業経営診断システム

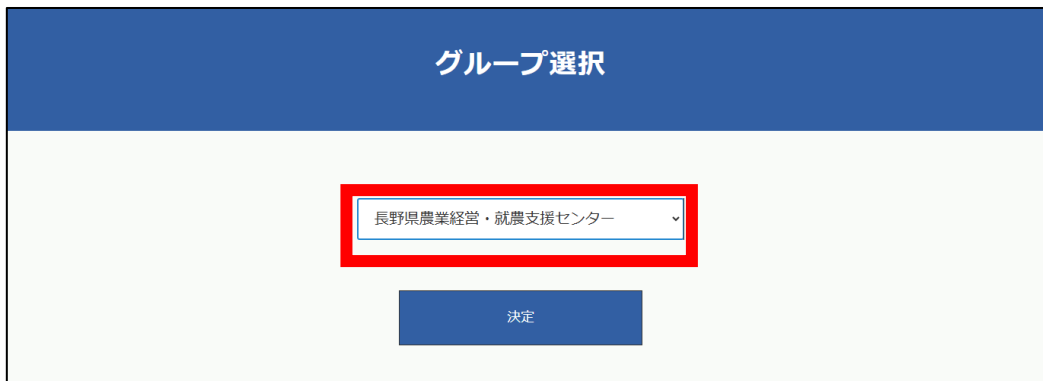
ユーザーID ユーザーIDを入力して下さい

パスワード パスワードを入力して下さい

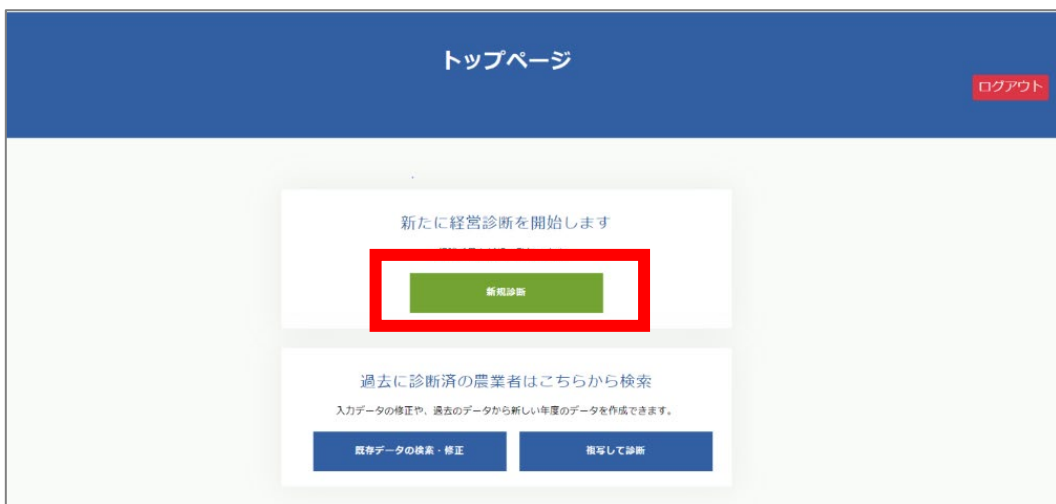
[ユーザーIDを忘れた方はこちら](#)
[パスワードを忘れた方はこちら](#)

ログイン

- ③ ログイン後、相談者の支援を行うために情報を共有する範囲（ユーザー・グループ）とユーザーが所属するグループが同一となるように、グループを選択してください。なお、選択すべきグループが不明な場合や、選択肢に該当するグループが無い場合は、管理者へ連絡してください。



- ④ トップページ画面で、新たに経営診断を開始する場合は、「新規診断」をクリックしてください。



- ⑤ 「何年度のデータを作成しますか？」の画面が表示されますので、本システムを利用して支援をする年度を半角数字で入力し、「OK」をクリックしてください



- ⑥ 相談者へ個人情報の取扱いについて説明した後、「個人情報の取扱いに関する同意書」に相談者から署名をもらい、スキャンしてPDFファイルを作成します。「ファイルを選択」をクリックして、作成したPDFファイルをシステムにアップロードします。その後、「 個人情報の取扱いについて、相談者本人が署名した同意書を添付しました」のチェックボックスにチェックを入れ、「入力へ進む」をクリックすると、診断を開始できます。

農業経営診断システム

個人情報の取扱い

個人情報の取扱いにつきまして
 個人情報の取扱いに関する同意書 (PDF) ダウンロード

同意書の書式はこちらからダウンロードできます

ログインユーザーへのご注意:
 本システムの利用者は、経営診断を行うに際して、相談者に対して「個人情報の取扱いに関する同意書 (PDF ファイル)」の内容を説明し、同意を得た後に署名していただき、PDF ファイルにして添付してください。

供者」といいます。)は、本システムの利用に際して得た個人情報について、個人情報の保護に関する法律 (平成15年法律第57号) 等に基づき、適正に管理し、本システムの円滑な運営及び改善のための分析、本システムの利用者及び本システムを通じて経営診断を行った農業者への支援、国及び地方公共団体が行う農業施策の実施のために利用します。以下の目的のために利用いたします。

2 第三者への提供
 (1) サービス提供者は、以下の場合を除いて、個人データを第三者へ提供することはありません。
 ① 法令に基づく場合
 ② 人の生命・身体・財産を保護するために必要で、本人から同意を得ることが難しい場合
 ③ 公衆衛生の向上・児童の健全な育成のために必要で、本人から同意を得ることが難しい場合
 ④ 国の機関や地方公共団体、その委託者などによる法令事務の遂行にあたって協力する必要があり、かつ本人の同意を得ることで事務遂行に影響が生じる可能性がある場合
 (2) 前項の定めにかかわらず、次に掲げる場合には、当該情報の提供先は第三者に該当しないものとします。
 ① 合併その他の事由による事業の承継に伴って個人情報が提供される場合
 ② 個人情報を特定の者ととの間で共同して利用する場合であって、その旨並びに共同して利用される個人情報の項目、共同して利用する者の範囲、利用する者の利

署名済みの同意書を添付してください:
 ファイルが選択されていません

個人情報の取扱いについて、相談者本人が署名した同意書を添付しました

(2) ログアウトの方法

- ① 本システムからログアウトするためには、まず画面左上の「農業経営診断システム」をクリックし、トップページに戻ります。

農業経営診断システム

農業経営診断システムとは | 利用マニュアル (PDF) | よくあるご質問 | お問い合わせ

1 経営体概要

経営形態 ? 個人経営 法人経営 その他 法人番号 ?

フリガナ ?

法人名・屋号 ?

フリガナ ?

代表者名 ?

代表者の性別 ? 男性 女性 その他

所在地 ?

所在地 ?

電話番号 ?

メールアドレス ?

資本金 ? 千円 決算月 ? 年-月

生年月日 ? 年/月/日 歳 創業・就農年月 ? 年-月

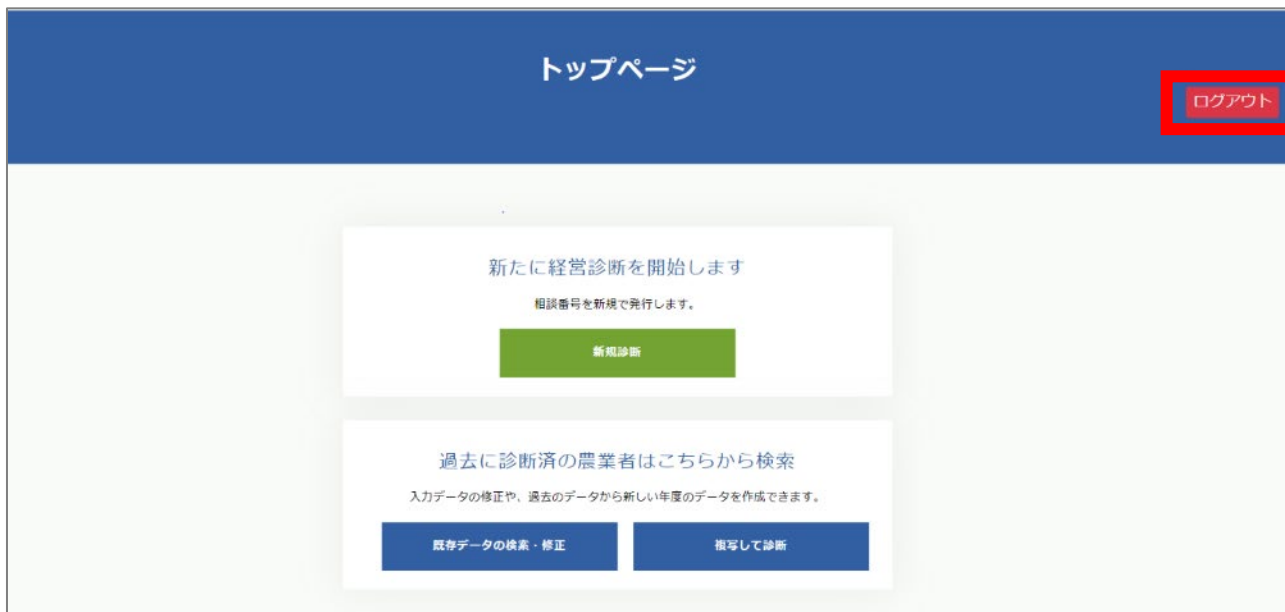
法人設立年月 ? 年-月 構成戸数 (任意団体) ? 戸 (集落数)

家族構成又は構成員構成 ?

年齢	性別	農業従事日数	役割・担当分野	出資口数・株数	備考
	選択	日			
	選択	日			

<< 戻る

- ② 戻ったトップページの画面右上にある「ログアウト」をクリックします。



- ③ ログアウトすると、TOP 画面に戻ります。



7 新たに経営診断を開始する

(1) 診断機能について

農業経営診断システムは [1]～[5] で構成され、相談者へのヒアリングや決算書などで把握した相談者の情報を入力しながら進めます。ただし、予備診断書の必須項目を入力しないと、[2]以降に進めません。

なお、すべての項目を一度に入力することが難しい場合でも、一時保存をすることで、入力可能な箇所から順次入力することができます。

[1] 予 備 診 断 書

経営形態・従業員数・営農類型・経営規模・機械施設等の所有状況などの「経営概況」を把握

[2] 財 務 分 析 シ ー ト

個人用

法人用

決算書の売上高や販管費などの財務データから収益性や安全性、効率性・生産性などの主要な財務指標を算出し財務状況を「定量的」に把握

[3] 機 能 別 チェ ッ ク リ ス ト

経営分野ごとの取組を「点数化」

1. 経営力チェックリスト
2. 生産管理チェックリスト
3. 財務管理チェックリスト
4. マーケティングチェックリスト
5. 労務管理チェックリスト

[4] 本 診 断 書

簡易版

詳細版

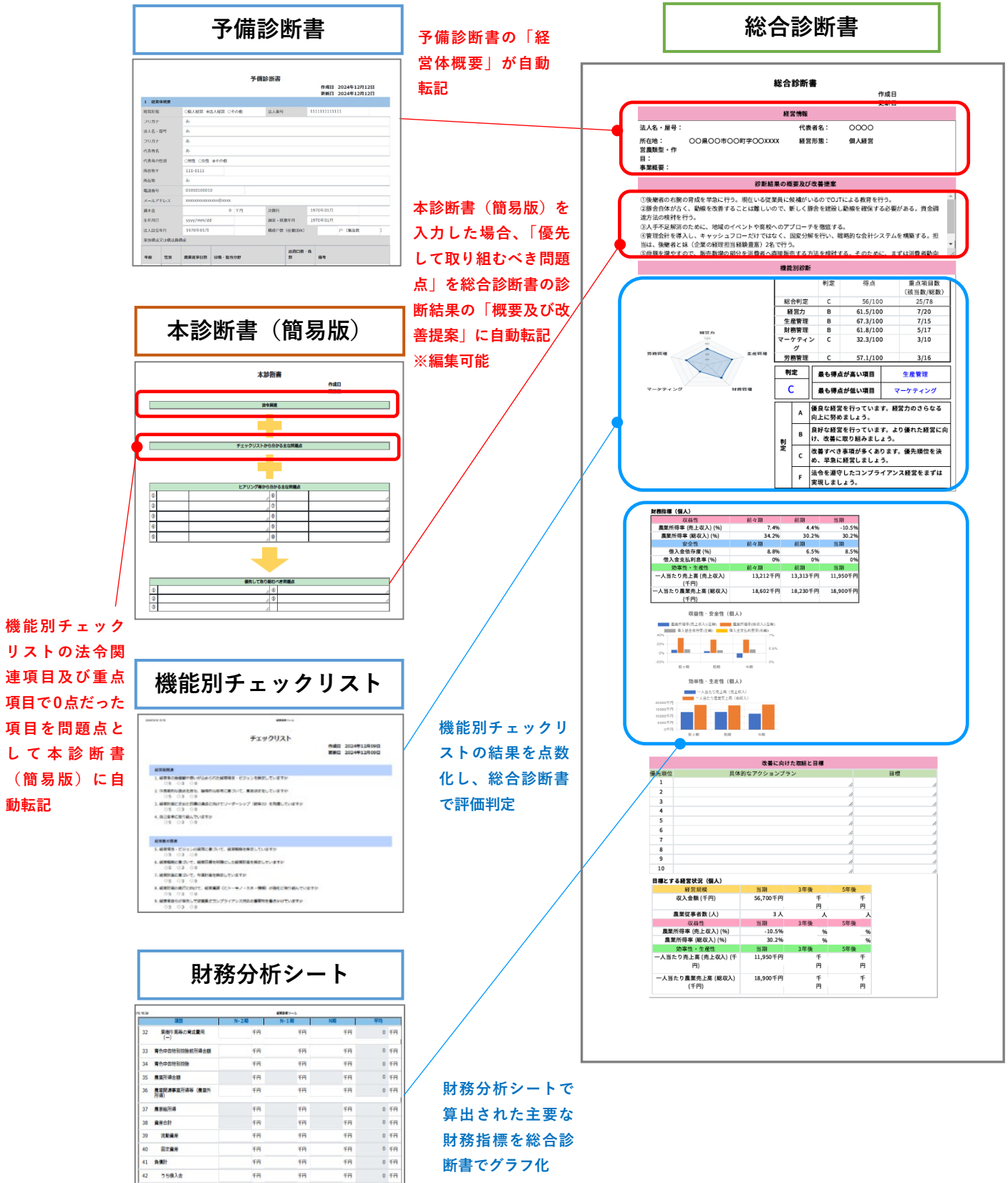
自社の強みと弱み・外部環境による影響、機能別チェックリストで明らかになった問題点などを「定性的」に把握

[5] 総 合 診 断 書

予備診断書から本診断書までの結果をまとめた「経営全体の現在像と目指すべき将来像を提示」する概要書

(2) 各種診断機能の関係

5つの診断は、データが連携しており、同じデータを重複して入力する必要はありません。データが**自動転記**・**自動計算**される項目は以下のとおりです。



7-1 予備診断書

予備診断とは、本格的な診断を実施する前に行う初期の経営診断のことであり、経営形態・従業員数・営農類型・経営規模・機械施設等の保有状況などの「経営概況」を把握することが目的です。

予備診断書は、①経営体概要、②経営規模、③生産管理、④販売管理、⑤関連事業、⑥財務会計管理、⑦経営課題と今後の展望 から構成されています。

入力方法には、ラジオボタンやプルダウンで該当する回答を選択する場合と、数字やテキストを直接入力する場合があります。また、色の付いているセルは、自動入力されません。

※留意事項

- ・入力に当たっては、農業経営基盤強化促進法に基づく認定を受けた「農業経営改善計画」や日本政策金融公庫の「借入申込希望書兼経営改善資金計画書」（融資対象：スーパーL資金・経営体育成強化資金・青年等就農資金・農業飼料資金）などの経営状況がわかる資料を参考してください（両方の資料がある場合は、最新の資料に記載されたデータを入力してください）。
- ・上記の資料がない場合は、相談者へのヒアリングや、決算書などの内部資料を参考にしながら入力を進めてください。
- ・必要な情報やデータがない場合は、未入力のままで問題ありません。一時保存機能を活用して、入力可能な箇所から作成を進めてください。入力の途中で、[p.9「本システム利用における注意事項」](#)に記載の操作をした場合は、入力したデータがシステムに保存されないため、ご注意ください。

STEP 1 : 「1 経営体概要」を入力する

経営体の基礎情報となる経営形態や代表者・従業員に関する事項、経営理念、経営方針などを入力します。

★付きの「経営形態」「(法人の場合) 法人番号」「代表者名・フリガナ」「所在地(郵便番号含む)」「電話番号」「メールアドレス」は、入力が必要の項目です。必須項目を入力の上、画面右下の「登録して次へ>>」をクリックすることで、他のシートへの入力が可能となります。

「家族構成又は構成員構成」の記入欄が足りない場合は、[p.25「STEP10：予備診断\(追加\)」](#)を参照してください。

1 経営体概要										
経営形態 ? ★	<input type="radio"/> 個人経営 <input checked="" type="radio"/> 法人経営 <input type="radio"/> その他			法人番号 ? ★	1234567890123					
フリガナ ?	カ) ○○ファーム									
法人名・屋号 ?	株式会社○○ファーム									
フリガナ ? ★	ノウギョウ タロウ									
代表者名 ?	農業 太郎									
代表者の性別 ?	<input checked="" type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性 <input type="radio"/> その他									
所在地〒 ? ★	123-4567	<input type="button" value="所在地を検索"/>								
所在地 ?	○○県○○市○○町○○XXXX									
電話番号 ? ★	090-0000-0000									
メールアドレス ? ★	XX@XX.com									
資本金 ?	3,000 千円			決算月 ?	2024年05月 <input type="checkbox"/>					
生年月日 ?	1954/01/01	<input type="checkbox"/>	71 歳	創業・就農年月 ?	1960年04月 <input type="checkbox"/>					
法人設立年月 ?	1990年06月	<input type="checkbox"/>	構成戸数(任意団体) ?		1 戸(集落数)					
家族構成又は構成員構成 ?										
年齢	性別	農業従事日数		役職・担当分野		出資口数・株数		備考		
70	男	300	日	代表取締役		30				
68	女	200	日	取締役		20				
40	男	300	日	取締役		10		後継者		
後継者の確保 ?	<input checked="" type="radio"/> 有 (<input checked="" type="radio"/> 親族 <input type="radio"/> 第三者 <input type="radio"/> 他企業 <input type="radio"/> その他) <input type="radio"/> 無			継承時期 ?		2026年01月 <input type="checkbox"/>				
従業員数 ?										
役員	男性	2	人	女性	1	人	その他	人	小計	3 人
従業員	男性	2	人	女性		人	その他	人	小計	2 人
家族	男性	1	人	女性	1	人	その他	人	小計	2 人
臨時雇用	男性		人	女性		人	その他	人	小計	人
合計	男性	5	人	女性	2	人	その他	人	小計	7 人
継承計画 ?	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無			BCP計画 ?	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 策定 ? ----年--月 <input type="checkbox"/>					

作業時間 ?	日平均 <input type="text"/> h 年間 <input type="text"/> 0 h	労働時間 ?	月平均 <input type="text"/> 日 年間 <input type="text"/> 日
休日日数 ?	月平均 <input type="text"/> 日 年間 <input type="text"/> 日	休暇制度 ?	<input type="text"/>
認定関係 ?	<input type="checkbox"/> 認定新規就農者 ---年--月	<input checked="" type="checkbox"/> 認定農業者 2020年04月	<input type="checkbox"/> (更新回数 <input type="text"/> 3)
経営理念・ビジョン ?	命を育て、地域に貢献する		
事業概要 ?	養豚農家		
今期経営方針 ?	地域に根付いたブランド豚の育成		
中長期経営方針 ?	失敗を恐れない経営 (規模拡大)		
特記事項 ?	地域養豚協議会の青年部長		

STEP 2 : 「2 経営規模」を入力する

収支状況や営農類型・作目、農地面積などを入力します。

「直近年の収支状況」は、個人または法人の該当する箇所に記載してください。

「作業受託」「特定作業受託」「常時飼養家畜」「施設」「機械」「車両」の記入欄が足りない場合は、[p.25「STEP10：予備診断（追加）」](#)を参照してください。

2 経営規模							
直近年の収支状況 ?							
個人							
区分	①農業		②農業生産関連事業		合計 (③=①+②)		割合①/③
収入 ?		千円		千円		千円	%
支出 ?		千円		千円		千円	%
所得 ?		千円		千円		千円	%
特記事項 ?							
法人							
区分	①農業		②農業生産関連事業		合計 (③=①+②)		割合①/③
売上高 ?	185,000	千円	0	千円	185,000	千円	1 %
売上原価 ?	130,000	千円	0	千円	130,000	千円	1 %
経常利益 ?					5900	千円	
税引後当期利益 ?					4000	千円	
特記事項 ?	安定した取引先があるが、今後母豚を増やし、取引先拡大への対応を検討中。						
営農類型・作目 ?							
<input checked="" type="radio"/> 単一営業 <input type="radio"/> 複合経営 (売上1位の作目 _____ 売上2位の作目 _____)							
<input type="checkbox"/> ①稲作 <input type="checkbox"/> ②麦類作 <input type="checkbox"/> ③雑穀・いも類・豆類 <input type="checkbox"/> ④工芸農作物		<input type="checkbox"/> ⑤露地野菜 <input type="checkbox"/> ⑥施設野菜 <input type="checkbox"/> ⑦果樹類 <input type="checkbox"/> ⑧露地花き・花木		<input type="checkbox"/> ⑨施設花き・花木 <input type="checkbox"/> ⑩その他作物 <input type="checkbox"/> ⑪酪農 <input type="checkbox"/> ⑫肉用牛		<input checked="" type="checkbox"/> ⑬養豚 <input type="checkbox"/> ⑭養鶏 <input type="checkbox"/> ⑮その他畜産	
田 (うち借地) ?	30.0	a (_____) a	畑 (うち借地) ?		a (_____) a		
樹園地 (うち借地) ?		a (_____) a	採草放牧地 (うち借地) ?		a (_____) a		
作業受託 ?							
受託内容						受託面積	a
特定作業受託 ?							
受託内容						受託面積	a
常時飼養家畜 ?							
種類	豚	頭羽数	4,000	頭	生産量	5,000	kg
種類	雑種(母豚) (大ヨークシャ・ランドレースの掛け合)	頭羽数	200	頭	生産量	0	kg
種類	デュロック (種豚)	頭羽数	20	頭	生産量	0	kg

施設 ?					
種類	豚舎1	規模・面積		棟	420 m ²
種類	豚舎2	規模・面積		棟	380 m ²
種類	豚舎3	規模・面積		棟	680 m ²
機械 ?					
名称		型式・性能			台
名称		型式・性能			台
名称		型式・性能			台
名称		型式・性能			台
名称		型式・性能			台
車両 ?					
名称	トラック	型式・性能	4トン		1 台
名称	軽トラック	型式・性能	600cc		1 台
名称		型式・性能			台

STEP 3 : 「3 生産管理」を入力する

STEP 2 で選択した営農類型・作目の生産状況を入力します。

「営農類型・作目」の記入欄が足りない場合は、[p.25 「STEP10：予備診断（追加）」](#)を参照してください。

3 生産管理											
GAP認証 ?		<input type="checkbox"/> JGAP <input type="checkbox"/> ASIAGAP <input type="checkbox"/> GLOBALGAP <input type="checkbox"/> 団体認証 <input type="checkbox"/> その他 ()									
環境負荷低減 ?											
ICT活用 ?		検討中									
特記事項 ?											
養豚											
区分	現状			5年後			区分	現状		5年後	
生産量 ?	374,000 kg/年			448,800 kg/年			販売額 ?	73,600 千円		134,640 千円	
種豚 ?	オス	20 頭		10 頭		肥育豚	出荷日齢 ?	180 日		160 日	
	メス	200 頭		250 頭			出荷体重 ?	110 kg/頭		120 kg/頭	
母豚年間産子数 ?	20 頭/年			24 頭/年			飼料給与量 ?	3 kg/頭		3 kg/頭	
母豚平均分娩回数 ?	2.0 回/年			2.0 回/年			飼料平均価格 ?	5 円/kg		5 円/kg	
子豚	出荷日齢 ?	日		日		飼料要求率 ?	3.4		3.0		
	出荷体重 ?	kg/頭		kg/頭		販売手数料 ?	0 円/頭		0 円/頭		
特記事項 ?	生産量に関して、生まれた子豚の生存率が85%、1頭110kgとして算出。販売単価（枝肉）：現状200円/kg、5年後300円/kg										

◆その他の記載例 (耕種)

耕種農業										
営農類型・作目 ?										
品目・品種名	現状					5年後				
	作付面積	生産量		販売額		作付面積	生産量		販売額	
① 水稲	6,000.0 a	300,000 kg	0 千円	6,000.0 a	300,000 kg	0 千円				
② 枝豆	6,300.0 a	160,000 kg	0 千円	6,500.0 a	165,000 kg	0 千円				
③ 大豆	2,900.0 a	150,000 kg	0 千円	3,000.0 a	156,000 kg	0 千円				
④ キャベツ	80.0 a	5,000 kg	0 千円	80.0 a	5,000 kg	0 千円				
⑤	a	kg	千円	a	kg	千円				
合計	15,280 a	615,000 kg	0 千円	15,580 a	626,000 kg	0 千円				
特記事項 ?										

(畜産)

肉用牛										
区分	現状		5年後		区分	現状		5年後		
生産量 [?]	60,000	kg/年	60,000	kg/年	販売額 [?]	14,400	千円	14,400	千円	
素牛	導入頭数 [?]	40	頭/年	40	頭/年	飼養頭数(成牛) [?]	340	頭	350	頭
	導入月齢 [?]	10	ヶ月	10	ヶ月	枝肉重量 [?]	300	kg/頭	300	kg/頭
	導入価格 [?]	540	千円/頭	540	千円/頭	濃厚飼料総給与量 [?]	2	t/頭	2	t/頭
販売牛	販売月齢 [?]	30	ヶ月	30	ヶ月	濃厚飼料平均価格 [?]	100	円/kg	100	円/kg
	販売体重 [?]	500	kg/頭	500	kg/頭	粗飼料総給与量 [?]		t/年		t/年
	販売価格 [?]	720	千円/頭	700	千円/頭	濃厚飼料要求率 [?]	13.0		13.0	
	販売頭数 [?]	200	頭	200	頭	飼料要求率(TDN) [?]	77.0	%	77.0	%
特記事項 [?]	肥育牛(黒毛和種) 生産量は枝肉(枝肉重量=販売体重×60%)									
酪農										
区分	現状		5年後		区分	現状		5年後		
生産量 [?]	8,600	kg/年	8,600	kg/年	販売額 [?]	79,120	千円	860,000	千円	
飼養頭数 [?]	100	頭	100	頭	濃厚飼料総給与量 [?]	1	t/頭	1	t/頭	
経産牛乳量 [?]	8,000	kg/頭	8,600	kg/頭	濃厚飼料平均価格 [?]	50	円/kg	52	円/kg	
乳価 [?]	92	円/kg	25	円/kg	濃厚飼料要求率 [?]					
更新率 [?]	25.0	%		%	粗飼料総給与量 [?]	650.0	t/年	650.0	t/年	
特記事項 [?]										
レイヤー(採卵鶏)										
区分	現状		5年後		区分	現状		5年後		
生産量 [?]	21,200	kg/年	21,500	kg/年	販売額 [?]	42,400	千円	64,500	千円	
種類 [?]	オス	0	羽	0	羽	産卵期間 [?]	5	ヶ月	5	ヶ月
	メス	76,100	羽	77,000	羽	育成率 [?]	100.0	%	100.0	%
素継	導入日齢 [?]	120	日齢	120	日齢	飼料給与量(成鶏) [?]	40	g/羽	38	g/羽
	導入価格 [?]	750	円/羽	800	円/羽	飼料平均価格 [?]	52,000	円/kg	55,000	円/kg
	導入羽数 [?]	761	千羽/年	770	千羽/年	飼料要求率(成鶏) [?]	2.2		2.2	
平均卵重 [?]	60	g/個	60	g/個	日産卵量 [?]	60	g/羽	60	g/羽	
特記事項 [?]	導入羽数方法は、オールイン・オールアウト方式で、1年6ヶ月サイクルとする。上記数値は更新サイクル年度として記載。卵重はMサイズ。現状の卸売価格200円/1kg、5年後の卸売価格300円/kgと想定。									
ブロイラー(肉用鶏)										
区分	現状		5年後		区分	現状		5年後		
生産量 [?]	1,517,670	kg/年	1,576,800	kg/年	販売額 [?]	607,068	千円	788,400	千円	
鶏種名 [?]	白色コーニッシュ		白色コーニッシュ		ヒナ購入価格 [?]	75	円/羽	100	円/羽	
常時飼養羽数 [?]	77,000 羽/年		80,000 羽/年		育成率 [?]	95.0	%	98.0	%	
	10.0 羽/m ²		10.0 羽/m ²		鶏舎延面積 [?]		m ²		m ²	
平均飼育日数 [?]	50 羽/年		50 羽/年		飼料総給与量 [?]	0	t/頭	0	t/頭	
出荷羽数 [?]	340,000 羽/年		350,000 羽/年		飼料平均価格 [?]	70	円/kg	85	円/kg	
出荷体重 [?]	270 kg/100羽		270 kg/100羽		飼料要求率 [?]	1.6		1.6		
特記事項 [?]	現状の卸売価格400円/1kg、5年後の卸売価格500円/kgと想定。									

STEP 4 : 「4 販売管理」を入力する

販路や売上高の割合など、「販売管理」に関する事項を入力します。「販路」は、出荷伝票などから出荷先別に出荷割合を記載します。

4 販売管理									
販路 ?									
系統出荷 ?	20.0	%	食品流通 ?	80.0	%	小売業 ?	%	直売所 ?	%
ECサイト ?		%	その他 ?		%	()			
販売先 1 位		売上額	0	千円	販売先 2 位		売上額	0	千円
販売先 3 位		売上額	0	千円	販売先 4 位		売上額	0	千円
特記事項 ?									

STEP 5 : 「5 関連事業」を入力する

加工・製造や農家レストランなど「関連事業」の売上高について、現状と5年後の目標値を記載します。

5 関連事業										
区分	現状		5年後		区分	現状		5年後		
加工・販売 ?		千円		千円	農家レストラン ?		千円		千円	
貯蔵・運搬 ?		千円		千円	農業体験・農泊 ?	0	千円	500	千円	
資材製造・販売 ?		千円		千円	その他 ?		千円		千円	
特記事項 ?							田植え体験などのプログラム提供を旅行業者と検討中			

STEP 6 : 「6 財務会計管理」を入力する

借入金の状況について、借入額が大きい借入先金融機関を上位5つ、それ以外の全ての借入先金融機関の借入金合計額を「その他」欄に入力します。また、財務会計管理をどのような方法で行っているのかを確認します。

6 財務会計管理								
借入金融機関等名 ?	借入金額 ?	年間支払額 ?	借入金残額 ?	最終返済期間年月 ?				
政府系金融機関	0	千円	0	千円	55,460	千円	2030年01月	<input type="checkbox"/>
農業組合	0	千円	0	千円	6,870	千円	2026年03月	<input type="checkbox"/>
	0	千円	0	千円	0	千円	----年--月	<input type="checkbox"/>
	0	千円	0	千円	0	千円	----年--月	<input type="checkbox"/>
	0	千円	0	千円	0	千円	----年--月	<input type="checkbox"/>
その他	0	千円	0	千円	0	千円	----年--月	<input type="checkbox"/>
合計	0	千円	0	千円				
管理方法 ?	<input checked="" type="checkbox"/> 市販ソフト <input type="checkbox"/> JA 提供システム <input checked="" type="checkbox"/> 税理士 <input type="checkbox"/> その他 ()							
特記事項 ?								

STEP 7 : 「7 経営課題と今後の経営展望」「備考」を入力する

経営課題のうち、該当する項目全てにチェックを入れてください。

「経営展望」には、改善事項だけではなく、今後の目指す農業経営の見通しを記載します。

7 経営課題と今後の経営展望				
経営課題 ?	<input type="checkbox"/> 経営改善	<input type="checkbox"/> 法人化	<input type="checkbox"/> 税務・財務	<input type="checkbox"/> 新規就農
	<input type="checkbox"/> 規模拡大・集積	<input checked="" type="checkbox"/> 施設整備	<input type="checkbox"/> I T・情報化	<input type="checkbox"/> 生産技術・技能
	<input type="checkbox"/> 雇用・労務	<input checked="" type="checkbox"/> 経営継承・相続	<input type="checkbox"/> 金融・融資	<input checked="" type="checkbox"/> 販路拡大・販促
	<input type="checkbox"/> 農業参入	<input type="checkbox"/> 集落営農設立		
	<input type="checkbox"/> その他 ()			
経営展望 ?	規模拡大を目指している			

STEP 8 : 「備考」を入力する

「備考」には、その他経営に関わる必要事項を記載してください。

備考
若手の後継者が積極的に活動し、地域の仲間を増やし、活性化を図っている。

STEP 9 : 「予備診断書」を登録し、「予備診断書(追加)」シートへ

入力が完了したら、画面右下の「登録して次へ>>」をクリックし、保存します。

予備診断書を出力する場合は、「登録して次へ>>」の左にある「 この画面を印刷する」のチェックボックスにチェックを入れた後に「登録して次へ>>」をクリックすることで、印刷画面が表示されます。

PDF ファイルで保存する場合は、この印刷画面でプリンターとして「Microsoft Print to PDF」等を選択することで保存できます。

クリック後に表示されるシートは、「予備診断書（追加）」です。

農業経営診断システム 農業経営診断システムとは | 利用マニュアル (PDF) | よくあるご質問 [お問い合わせ](#)

予備診断書

1 経営体概要

経営形態 ?	<input type="radio"/> 個人経営 <input checked="" type="radio"/> 法人経営 <input type="radio"/> その他	法人番号 ?	1234567890123
フリガナ ?	カ) ○○ファーム		
法人名・屋号 ?	株式会社○○ファーム		
フリガナ ?	ノウギョウ タロウ		
代表者名 ?	農業 太郎		
代表者の性別 ?	<input checked="" type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性 <input type="radio"/> その他		
所在地〒 ?	123-4567	<input type="button" value="所在地を検索"/>	
所在地 ?	○○県○○市○○町字○○XXXX		
電話番号 ?	090-0000-0000		
メールアドレス ?	XX@XX.com		
資本金 ?	3,000	千円	決算月 ? 2024年05月 <input type="checkbox"/>
生年月日 ?	1954/01/01 <input type="checkbox"/>	71 歳	創業・就農年月 ? 1960年04月 <input type="checkbox"/>
法人設立年月 ?	1990年06月 <input type="checkbox"/>	構成戸数 (任意団体) ?	1 戸 (集落数)
家族構成又は構成員構成 ?			

この画面をPDF印刷する

STEP10：「予備診断書（追加）」を入力する ※入力のある場合のみ使用

予備診断書の「1 経営体概要」、「2 経営規模」、「3 生産管理」のうち、一部項目で記載しきれなかった項目については、「予備診断書（追加）」に記載してください。

予備診断書で入力したデータについては、本システムの画面表示ではその内容が表示されますが、予備診断書（追加）を出力する際には「本紙にて出力」と表示されます。

予備診断書（追加）						
1 経営体概要						
家族構成又は構成員構成 ?						
年齢	性別	農業従事日数	役職・担当分野	出資口数・株数	備考	
70	男	300 日	代表取締役	30	別紙に記載	
68	女	200 日	取締役	20	別紙に記載	
40	男	300 日	取締役	10	別紙に記載	
61	男	200 日	分焼	0	代表弟	
38	女	300 日	給餌、清掃等	0	娘	
42	男	240 日	給餌、清掃等	0		
36	女	240 日	給餌、清掃等	0		
	選択	日				
	選択	日				
	選択	日				
	選択	日				
2 経営規模						
作業受託 ?						
受託内容				受託面積		a
受託内容				受託面積		a
受託内容				受託面積		a
受託内容				受託面積		a
受託内容				受託面積		a
受託内容				受託面積		a
受託内容				受託面積		a
受託内容				受託面積		a
特定作業受託 ?						
受託内容				受託面積		a
受託内容				受託面積		a
受託内容				受託面積		a
受託内容				受託面積		a
受託内容				受託面積		a
受託内容				受託面積		a
受託内容				受託面積		a

常時飼養家畜 ?					
別紙に記載	豚	頭羽数	4,000	頭	生産量 5,000 kg
別紙に記載	母猪(母豚) (大ヨークシャ・ランドレースの掛け合)	頭羽数	200	頭	生産量 0 kg
別紙に記載	デュロック (種豚)	頭羽数	20	頭	生産量 0 kg
種類		頭羽数		選択	生産量 kg
種類		頭羽数		選択	生産量 kg
種類		頭羽数		選択	生産量 kg
種類		頭羽数		選択	生産量 kg

施設 ?					
別紙に記載	豚舎1	規模・面積		棟	420 a
別紙に記載	豚舎2	規模・面積		棟	380 a
別紙に記載	豚舎3	規模・面積		棟	680 a
種類		規模・面積		棟	a
種類		規模・面積		棟	a
種類		規模・面積		棟	a
種類		規模・面積		棟	a
種類		規模・面積		棟	a
種類		規模・面積		棟	a
種類		規模・面積		棟	a

機械 ?					
名称		型式・性能			台
名称		型式・性能			台
名称		型式・性能			台
名称		型式・性能			台
名称		型式・性能			台
名称		型式・性能			台
名称		型式・性能			台

車両 ?					
名称	トラック	型式・性能	4トン		1 台
名称	軽トラック	型式・性能	600cc		1 台
名称		型式・性能			台
名称		型式・性能			台
名称		型式・性能			台
名称		型式・性能			台
名称		型式・性能			台

3 生産管理								
耕種農業								
営農類型・作目 ?								
品目・品種名	現状			5年後				
	作付面積	生産量	販売額	作付面積	生産量	販売額		
①		a	kg	千円	a	kg	千円	
②		a	kg	千円	a	kg	千円	
③		a	kg	千円	a	kg	千円	
④		a	kg	千円	a	kg	千円	
⑤		a	kg	千円	a	kg	千円	
⑥		a	kg	千円	a	kg	千円	

STEP11 : 「予備診断書(追加)」を登録し、「財務分析シート」へ

入力が完了したら、画面右下の「内容を確認する>>」をクリックし、保存します。

予備診断書（追加）を出力する場合は、「登録して次へ>>」の左にある「 この画面を PDF 印刷する」のチェックボックスにチェックを入れた後に「登録して次へ>>」をクリックすることで、印刷画面が表示されます。

PDF ファイルで保存する場合は、この印刷画面でプリンターとして「Microsoft Print to PDF」等を選択することで保存できます。

クリック後に表示されるシートは、「財務分析シート」です。

予備診断書（追加）

1 経営体概要

家族構成又は構成員構成 ?

年齢	性別	農業従事日数	役職・担当分野	出資口数・株数	備考
70	男 <input type="checkbox"/>	300 日	代表取締役	30	別紙に記載
68	女 <input type="checkbox"/>	200 日	取締役	20	別紙に記載
40	男 <input type="checkbox"/>	300 日	取締役	10	別紙に記載
61	男 <input type="checkbox"/>	200 日	分嫡	0	代表弟
38	女 <input type="checkbox"/>	300 日	給餌、清掃等	0	娘
42	男 <input type="checkbox"/>	240 日	給餌、清掃等	0	
36	女 <input type="checkbox"/>	240 日	給餌、清掃等	0	
	選択 <input type="checkbox"/>	日			
	選択 <input type="checkbox"/>	日			
	選択 <input type="checkbox"/>	日			
	選択 <input type="checkbox"/>	日			
	選択 <input type="checkbox"/>	日			

<<戻る■この画面をPDF印刷する内容を確認する>>

7-2 財務分析シート

財務診断とは、決算書の売上高や販管費などの財務データを活用し、収益性や安全性、効率性・生産性などの財務指標を算出することで、経営体の財務状況を分析する経営診断です。

財務分析シートは、**個人用**と**法人用**との2種類があり、予備診断書の「経営体概要」で選択した経営形態（個人経営 or 法人経営）に応じて異なります。

入力にあたっては、相談者に以下の決算書等を事前に用意してもらうとスムーズです。

◆ 個人経営の場合

当期（直近）及びその2期前の合計3期分の、①青色申告決算書、②収支内訳書

◆ 法人経営の場合

当期（直近）及びその2期前の合計3期分の、①損益計算書、②貸借対照表、③製造原価報告書

(1) 財務分析シート（個人用）

当期（直近）及びその2期前の合計3期分の青色申告決算書・収支内訳書等の財務データを参考に入力します。各項目の値を入力すると、収益性や安全性、効率性・生産性などの財務指標が自動的に算出され、経営体の財務状況を把握することができます。

STEP 1：各項目の数字を入力する

当期（直近）、前期、前々期の数字を入力してください。色が付いているセルは自動計算される項目です。

なお、「農業共済掛金」については、その他に価格補填負担金、収入保険の保険料等も足し合わせて値を入力する。

青色申告決算書（農業所得用） 損益計算書の書式		財務分析シート（個人）				
科 目	金 額 (円)	項目	前々期	前期	当期	平均
収入		農業収入（農業総収益）	55,807 千円	54,690 千円	56,700 千円	55,732.3 千円
金		販売金額 ①	40690 千円	39570 千円	35060 千円	38,440 千円
類		家事消費金額 ②	267 千円	270 千円	280 千円	272.3 千円
		雑収入 ③	16170 千円	14750 千円	20850 千円	17,256.7 千円
		うち農作業受託収入	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		小計 (①+②+③) ④				
		農産物の棚卸高 期首 ⑤	4980 千円	3660 千円	3760 千円	4,133.3 千円
		農産物の棚卸高 期末 ⑥	3660 千円	3760 千円	4270 千円	3,896.7 千円
		計 (④-⑤+⑥) ⑦				
経費		農業経営費	36,715 千円	38,190 千円	39,602 千円	38,169 千円
		租税公課 ⑧	466 千円	917 千円	1190 千円	857.7 千円
		種苗費 ⑨	859 千円	819 千円	1095 千円	924.3 千円
		畜養費 ⑩	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		肥料費 ⑪	1354 千円	2130 千円	2093 千円	1,859 千円
		飼料費 ⑫	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		農具費 ⑬	510 千円	387 千円	330 千円	409 千円
		農業衛生費 ⑭	1112 千円	1910 千円	1880 千円	1,634 千円
		諸材料費 ⑮	1524 千円	1660 千円	921 千円	1,368.3 千円
		修繕費 ⑯	3180 千円	3460 千円	3270 千円	3,303.3 千円
		動力光熱費 ⑰	3026 千円	2557 千円	2668 千円	2,750.3 千円
		作業用衣料費	381 千円	217 千円	215 千円	271 千円
		農業共済掛金等 (共済掛金、価格補填負担金、収入 保険の保険料等)	367 千円	367 千円	737 千円	490.3 千円
		減価償却費 ⑱	6396 千円	6220 千円	7105 千円	6,573.7 千円
		荷造運賃手数料 ⑲	1993 千円	2350 千円	2136 千円	2,159.7 千円
		雇人費 ⑳	3953 千円	3450 千円	3750 千円	3,717.7 千円
		利子割引料 ㉑	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		地代・賃借料 ㉒	6946 千円	7627 千円	7539 千円	7,370.7 千円
		土地改良費 ㉓	375 千円	460 千円	463 千円	432.7 千円
経費		作業用衣料費 ⑳				
		農業共済掛金 ㉑				
		減価償却費 ㉒				
		荷造運賃手数料 ㉓				
		雇人費 ㉔				
		利子割引料 ㉕				
		地代・賃借料 ㉖				
		土地改良費 ㉗				

出典 国税庁 所得税青色申告決算書（農業所得用）

青色申告決算書（農業所得用）
損益計算書の書式

	⑳	
	㉑	
	㉒	
	㉓	
雑費	㉔	
小計	㉕	
農産物以外の棚卸高	㉖	
期首	㉗	
期末	㉘	
経費から差し引く果樹牛馬等の育成費用	㉙	
計 (㉔+㉕-㉖-㉗-㉘-㉙)	㉚	

科 目		金 額 (円)
差引金額 (㉗-㉘)	㉛	
繰戻金等	㉜	
貸倒引当金	㉝	
計	㉞	
専従者給与	㉟	
貸倒引当金	㊱	
繰入金等	㊲	
計	㊳	
青色申告特別控除前の所得金額 (㉛-㉞-㊱)	㊴	
青色申告特別控除額	㊵	
所得金額 (㊴-㊵)	㊶	
㊶のうち、肉用牛について特別の適用を受ける金額		

その他	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
雑費	4273	千円	3659	千円	4210	千円	4,047.3	千円
小計	36,715	千円	38,190	千円	39,602	千円	38,169	千円
農産物以外の棚卸高(期首)	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
農産物以外の棚卸高(期末)	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
経費から差し引く果樹牛馬等の育成費用	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
青色申告特別控除前所得金額	10959	千円	7646	千円	8657	千円	9,087.3	千円
青色申告特別控除	554	千円	600	千円	460	千円	538	千円
農業所得金額	10,405	千円	7,046	千円	8,197	千円	8,549.3	千円
農業関連事業所得等(農業外所得)	554	千円	600	千円	460	千円	538	千円
農家総所得	9,851	千円	6,446	千円	7,737	千円	8,011.3	千円
資産合計	73,874	千円	74,788	千円	73,726	千円	74,129.3	千円
流動資産	34374	千円	36198	千円	35576	千円	35,382.7	千円
固定資産	39500	千円	38590	千円	38150	千円	38,746.7	千円
負債計	6474	千円	4874	千円	6240	千円	5,862.7	千円
うち借入金	6474	千円	4874	千円	6240	千円	5,862.7	千円
純資産計	67400	千円	69914	千円	67486	千円	68,266.7	千円
農家従事者数(経営主・家族・常時雇用者)	3	人	3	人	3	人	3	人

青色申告決算書（農業所得用）貸借対照表の書式

資 産 の 部				負 債 ・ 資 本 の 部			
科 目	月 日(期首)	月 日(期末)	科 目	月 日(期首)	月 日(期末)		
現金			買掛金				
普通預金			借入金				
定期預金			未払金				
その他の預金			前受金				
売掛金			預り金				
未収金							
有価証券							
農産物等							
未収穫農産物等							
未成熟の果樹育成中の牛馬等							
肥料その他の貯蔵品							
前払金							
貸付金			貸倒引当金				
建物・構築物							
農機具等							
果樹・牛馬等							
土地							
土地改良事業受益者負担金							
			事業主借入金				
事業主貸			青色申告特別控除前の所得金額				
合計			合計				

STEP 2 : 指標が自動計算されているのを確認する

STEP1 で全ての項目を入力すると、収益性、安全性、効率性・生産性の各指標が、各期で自動計算されて表示されます。これらの指標は、総合診断書で表やグラフで示されます。

財務指標	収益性			平均
	前々期	前期	当期	
農業所得率（売上収入）	7.372 %	4.382 %	-10.466 %	0.4 %
農業所得率（総収入）	34.211 %	30.17 %	30.155 %	31.5 %
売上高諸経费率	47.245 %	52.148 %	50.7 %	50 %

財務指標	安全性			平均
	前々期	前期	当期	
借入金依存度	8.764 %	6.517 %	8.464 %	7.9 %
借入金支払利息率	0 %	0 %	0 %	0 %
流動比率	530.955 %	742.675 %	570.128 %	614.6 %

財務指標	効率性・生産性			平均
	前々期	前期	当期	
一人当たり農業売上高（売上収入）	13,212,333 千円	13,313,333 千円	11,950 千円	12,825.2 千円
一人当たり農業売上高（総収入）	1,860,233,333 千円	1,823,000 千円	1,890,000 千円	1,857,744.4 千円

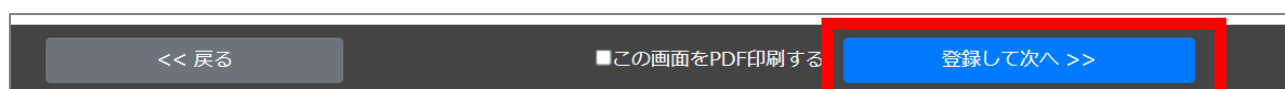
STEP 3 : 「財務分析シート」を登録し、「機能別チェックリスト」へ

入力が完了したら、画面右下の「登録して次へ>>」をクリックし、保存します。

財務分析シートを出力する場合は、「登録して次へ>>」の左にある「 この画面をPDF印刷する」のチェックボックスにチェックを入れた後に「登録して次へ>>」をクリックすることで、印刷画面が表示されます。

PDF ファイルで保存する場合は、この印刷画面でプリンターとして「Microsoft Print to PDF」等を選択することで保存できます。

クリック後に表示されるシートは、「機能別チェックリスト」です。



(2) 財務分析シート (法人用)

当期 (直近) 及びその 2 期前の合計 3 期分の損益計算書、貸借対照表、製造原価報告書等の財務データを参考に入力します。各項目の値を入力すると、収益性や安全性、効率性・生産性などの財務指標が自動的に算出され、経営体の財務状況を把握することができます。

STEP 1 : 各項目の数字を入力する

当期（直近）、前期、前々期の数字を入力してください。色が付いているセルは自動計算される項目です

損益計算書			
自〇年〇月〇日 至〇年〇月〇日			
I	売上高		XXX
II	売上原価		
	1. 期首製品棚卸高	XXX	
	2. 当期商品仕入高	XXX	
	3. 当期製品製造原価	XXX	
合計		XXX	
	4. 期末製品棚卸高	XXX	XXX
	売上総利益		XXX
III	販売費及び一般管理費	XXX	XXX
	販売経費	XXX	
	人件費	XXX	
	減価償却費	XXX	
	...		
	営業利益		XXX
IV	営業外収益	XXX	XXX
V	営業外費用	XXX	XXX
	経常利益		XXX
VI	特別利益	XXX	XXX
VII	特別損失	XXX	XXX
	税引前当期純利益	XXX	XXX
	法人税、住民税及び事業税	XXX	
	当期純利益		XXX

製造原価報告書			
自〇年〇月〇日 至〇年〇月〇日			
【材料費】 (省略)			
	材料費 計		XXX
【労務費】			
	賃金手当	XXX	
	法定福利費	XXX	
	作業用衣料費	XXX	
	労務費 計		XXX
【製造経費】 (省略)			
	減価償却費	XXX	
	農地賃借料	XXX	
	地代賃借料	XXX	
	製造経費 計		XXX
	登記製造費用	XXX	
	期首仕掛品棚卸高	XXX	
	△育成費振替高	XXX	
	△期末仕掛品棚卸高	XXX	
	当期製品製造原価		XXX

財務分析シート (法人)					
項目	前々期	前々期	前々期	前々期	前々期
	千円	千円	千円	千円	千円
売上高	174490	200670	162790		180,988.3
売上原価	116590	152210	129980		132,926.7
うち労務費 (売上原価)	11330	14050	12540		12,636.7
うち減価償却費 (売上原価)	15950	13990	10990		13,636.7
売上総利益	57,900	48,460	32,810		53,056.7
販売費、一般管理費	57460	54340	48020		53,540
うち人件費 (販管費)	22550	22550	22550		22,550
うち高家賃等 (販管費)	900	800	752		817.3
営業利益	440	-5,880	3,990		-483.3
営業外収益	3740	12030	3761		6,018.3
営業外費用	155	120	104		129.3
うち支払利息	155	128	140		141.3
経常利益	4,025	6,021	7,647		5,897.7
税引前当期純利益	4,022	6,290	5,228		5,180
税引後当期純利益	3,166	4,710	4,056		3,977.3
資産合計	159400	154460	138780		150,880
流動資産	54810	56320	48440		53,190
うち当座資産	27380	33610	28750		29,913.3
固定資産	104590	98140	90350		97,693.3
負債計	121,480	111,830	92,100		108,470
流動負債	30040	32830	25340		29,403.3
うち短期借入金	11180	11180	11170		11,176.7
固定負債	91440	79000	66760		79,066.7
うち長期借入金	85750	74580	63400		74,576.7
純資産計 (自己資本)	37920	42630	46680		42,410
キャッシュフロー	20,056	19,500	15,798		18,451.3
付加価値額	54,947	57,759	52,300		55,002
従業員数 (経理主・有給役員・常雇雇用者)	7人	7人	7人		7人

貸借対照表			
〇年〇月〇日現在			
資産の部		負債の部	
流動資産	XXX	I 流動負債	XXX
当座資産	XXX	短期借入金	XXX
.		II 固定負債	XXX
.		長期借入金	XXX
.		.	
固定資産	XXX	負債合計	XXX
1 有形固定資産	XXX	純資産の部	
2 無形固定資産	XXX	I 株主資本	XXX
3 投資その他の資産	XXX	1 資本金	XXX
繰延資産	XXX	2 資本剰余金	XXX
		3 利益剰余金	XXX
資産合計	XXX	純資産合計	XXX
		負債・純資産合計	XXX

STEP 2：指標が自動計算されているのを確認する

STEP1 で1期分全ての指標を入力すると、収益性、安全性、効率性・生産性の各指標が、自動計算されて表示されます。これらの指標は、総合診断書で表やグラフで示されます。

財務指標	収益性			平均
	前々期	前期	当期	
売上高総利益率	33.182 %	24.149 %	28.891 %	28.7 %
売上高営業利益率	0.252 %	-2.93 %	2.183 %	-0.2 %
売上高経常利益率	2.307 %	3 %	4.183 %	3.2 %
総資本経常利益率	2.525 %	3.898 %	5.51 %	4 %
売上高当期純利益率	1.814 %	2.347 %	2.219 %	2.1 %

財務指標	安全性			平均
	前々期	前期	当期	
自己資本比率	23.789 %	27.599 %	33.636 %	28.3 %
売上高キャッシュフロー比率	11.494 %	9.717 %	8.643 %	10 %
流動比率	182.457 %	171.55 %	191.16 %	181.7 %
当座比率	91.145 %	102.376 %	113.457 %	102.3 %
固定長期適合率	80.852 %	80.687 %	79.646 %	80.4 %

財務指標	効率性・生産性			平均
	前々期	前期	当期	
総資本回転率（総資産回転率）	1.095 回	1.299 回	1.317 回	1.2 回
一人当たり売上高	24,927.143 千円	28,667.143 千円	26,112.857 千円	26,569 千円
一人当たり売上総利益	8,271.429 千円	6,922.857 千円	7,544.286 千円	7,579.5 千円
従業員1人当たり粗付加価値額（労働生産性）	7,849.571 千円	8,251.286 千円	7,471.429 千円	7,857.4 千円
売上高粗付加価値額比率	0 %	0 %	0 %	0 %
粗付加価値額人件費比率（労働分配率）	58.515 %	75.423 %	66.635 %	66.9 %

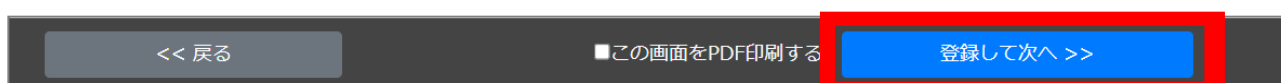
STEP 3：「財務分析シート」を登録し、「機能別チェックリスト」へ

入力が完了したら、画面右下の「登録して次へ>>」をクリックし、保存します。

財務分析シートを出力する場合は、「登録して次へ>>」の左にある「 この画面をPDF印刷する」のチェックボックスにチェックを入れた後に「登録して次へ>>」をクリックすることで、印刷画面が表示されます。

PDF ファイルで保存する場合は、この印刷画面でプリンターとして「Microsoft Print to PDF」等を選択することで保存できます。

クリック後に表示されるシートは、「機能別チェックリスト」です。



7-3 機能別チェックリスト

相談者へのヒアリングや経営状況のわかる書類を参考に、経営力、生産管理、財務管理、マーケティング、労務管理の5つの機能別チェックリストを入力します。各機能の課題を洗い出すことで、具体的な経営の問題点の把握、整理に役立ちます。

項目には、通常項目以外に、「法令関連項目」と「重点項目」があります。

「法令関連項目」…関係法令に個別具体的な定めがある項目

「重点項目」…各機能において、重要な機能を担っている項目

◆機能ごとの項目数とその内訳

機能別	チェック項目合計	内訳		
		通常項目	重点項目	法令関連項目
経営力	20	13	7	0
生産管理	23	9	8	6
財務管理	17	12	5	0
マーケティング	10	7	3	0
労務管理	22	6	3	13
合計	92	47	26	19

STEP 1：機能別チェックリストを入力する

「経営力」、「生産管理」、「財務管理」、「マーケティング」、「労務管理」の順番で機能別チェックリストを入力します。入力に当たっては、各項目の採点基準を参照しながら、該当する回答の一つを選んでチェックしてください。入力が完了したら、画面右下の「登録して次へ>>」をクリックして次の画面に進みます。

各項目の具体的な採点基準は、画面右上の「採点基準」からダウンロードできます。

機能別チェックリスト (経営力)

■ 採点基準

★・・・重点項目

経営者関連

1. 経営者の価値観や想いが込められた経営理念・ビジョンを策定していますか.★
 5 3 0
2. 中長期的な視点を持ち、論理的な思考に基づいて、意思決定をしていますか.★
 5 3 0
3. 経営計画に定めた目標の達成に向けてリーダーシップ（統率力）を発揮していますか.★
 5 3 0
4. 自己変革に取り組んでいますか
 5 3 0

経営基本関連

5. 経営理念・ビジョンの実現に基づいて、経営戦略を策定していますか
 5 3 0

◆各項目の得点の考え方

※「該当なし」の選択肢を設定している項目があります。

<法令等に関する項目の場合>

- 1点 … 良：できている
- 0点 … 要改善：できていない
- 該当なし … 質問の項目に該当しない

<法令以外の項目の場合>

- 5点 … 優良：できており、更に何らかの取組を行っている
- 3点 … 良好：できている
- 0点 … 要改善：できていない
- 該当なし … 質問の項目に該当しない

機能別チェックリストで選択した回答の得点は、自動計算され、総合診断書において評価が表示されます。機能別チェックリストにおける総合診断書の評価判定は [p.45「7 - 5. 総合診断書 ◆機能別チェックリストの判定について」](#) をご参照ください。

STEP 2 : 「機能別チェックリスト」を登録し、「本診断書」へ

すべての機能別チェックリストの入力が完了したら、画面右下の「登録して次へ>>」をクリックし、保存します。

機能別チェックリストを出力する場合は、「登録して次へ>>」の左にある「 この画面を PDF 印刷する」のチェックボックスにチェックを入れた後に「登録して次へ>>」をクリックすることで、印刷画面が表示されます。

PDF ファイルで保存する場合は、この印刷画面でプリンターとして「Microsoft Print to PDF」等を選択することで保存できます。

クリック後に表示されるシートは、「本診断書」です。



7-4 本診断書

本診断では、予備診断・財務診断・機能別チェックリストから明らかになった経営状況を整理・分析することで、優先して取り組むべき事項を洗い出します。

本診断書は、**簡易版（機能別チェックリスト等を活用）**と**詳細版（SWOT分析等を活用）**の2種類があります。ご自身に適した方法を選択してください。

本診断書（簡易版）

機能別チェックリストから自動転記される項目と文字入力する項目があります。

【構成】

- ・機能別チェックリスト(法令関連)から自動転記
- ・機能別チェックリスト(重点項目)から自動転記
- ・ヒアリング等から分かる主な問題点を自己記載
- ・優先して取り組むべき問題点を自己記載

本診断書（簡易版）			
機能別チェックリストから分かる法令遵守状況			
+			
機能別チェックリストから分かる主な問題点			
+			
ヒアリング等から分かる主な問題点			
①		④	
②		⑤	
③		⑥	
④		⑦	
⑤		⑧	
↓			
優先して取り組むべき問題点			
①		④	
②		⑤	
③			

本診断書（詳細版）

ヒアリング内容等から全ての項目を文字入力します(自動転記はされません)。

【構成】

- ・農業経営における主な問題点
- ・SWOT分析
- ・クロスSWOT分析

本診断書（詳細版）				
農業経営における主な問題点				
経営課題	強み (Strength)		弱み (Weakness)	
	項目	①	項目	①
		②		②
	詳細項目	③	詳細項目	③
		④		④
	原因	⑤	原因	⑤
		⑥		⑥
	対策	⑦	対策	⑦
	⑧		⑧	
	⑨		⑨	
	⑩		⑩	
経営機会	機会 (Opportunity)		脅威 (Threat)	
	項目	①	項目	①
		②		②
	詳細項目	③	詳細項目	③
		④		④
	原因	⑤	原因	⑤
		⑥		⑥
	対策	⑦	対策	⑦
	⑧		⑧	
	⑨		⑨	
	⑩		⑩	

強み × 機会		弱み × 機会	
①		①	
②		②	
③		③	
④		④	
⑤		⑤	
強み × 脅威		弱み × 脅威	
①		①	
②		②	
③		③	
④		④	
⑤		⑤	

(1) 本診断書（簡易版）

簡易版では、機能別チェックリストから分かる「法令遵守状況」や「主な問題点」については、自動的に転記されます。また、相談者への「ヒアリング等から分かる主な問題点」については、分かった問題点のうち、重要度又は緊急性の高いものを入力します。

これらの入力内容を踏まえて、優先して取り組むべき問題点を整理します。

STEP 1：「機能別チェックリストから分かる法令遵守状況」を確認する

「機能別チェックリスト」の法令関連項目で「0点」となった項目が、問題点として自動転記されます。

機能別チェックリストから分かる法令遵守状況		
① 労務管理	従業員を雇用した際や作業内容を変更した際に、安全衛生教育を適切に行っていない。	

STEP 2：「機能別チェックリストから分かる主な問題点」を確認する

「機能別チェックリスト」の重点項目で「0点」となった項目が、問題点として自動転記されます。

機能別チェックリストから分かる主な問題点			
① 財務管理	月次報告書を作成していない。	③ マーケティング	顧客ニーズ、市場のトレンドを把握・理解しておらず、それらを反映した農畜産物、加工品、サービスを提供できていない。
② 財務管理	損益分岐点分析を行っていない。		

STEP 3：「ヒアリング等から分かる主な問題点」を入力する


相談者へのヒアリング等により明らかになった、経営改善する必要がある内容（問題点）を入力（全角 50 文字まで）します。

ヒアリング等から分かる主な問題点			
① 経営力	後継者が一人で経営、生産を仕切っている	⑥	
② 生産管理	豚舎の動線が悪く、豚の移動で無駄な動きがある	⑦	
③ 生産管理	事故率発生が高い	⑧	
④ マーケティング	直接販売を行う計画だが、人手不足で計画が頓挫している	⑨	
⑤		⑩	

STEP 4 : 「優先して取り組むべき問題点」を入力する（手動入力）

STEP 1 から STEP 3 までで明らかになった内容（問題点）について、重要度と緊急性を考慮した上で、優先度の高いものから順に整理して入力（全角 100 文字まで）します。

「優先して取り組むべき問題点」で記載した内容は、総合診断書の「診断結果の概要及び改善提案」として、自動転記されます。



優先して取り組むべき問題点	
① 後継者の右腕の育成を早急に行う。現在いる従業員に候補がいるのでOJTによる教育を行う。	④ 管理会計を導入し、キャッシュフローだけではなく、固定分解を行い、戦略的な会計システムを構築する。担当は、後継者と妹（企業の経理担当経験豊富）2名で行う。
② 豚舎自体が古く、動線を改善することは難しいので、新しく豚舎を建設し動線を確保する必要がある。資金調達方法の検討を行う。	⑤ 母豚を増やすので、販売数増の部分为消费者へ直接販売する方法を検討する。そのために、まずは消費者動向を把握する。
③ 人手不足解消のために、地域のイベントや高校へのアプローチを徹底する。	

STEP 5 : 「本診断書」を登録し、「総合診断書」へ

入力が完了したら、画面右下の「結果を表示する >>」をクリックし、保存します。

本診断書を出力する場合は、「結果を表示する >>」の左にある「 この画面を PDF 印刷する」のチェックボックスにチェックを入れた後に「結果を表示する >>」をクリックすることで、印刷画面が表示されます。

PDF ファイルで保存する場合は、この印刷画面でプリンターとして「Microsoft Print to PDF」等を選択することで保存できます。

クリック後に表示されるシートは、「総合診断書」です。



(2) 本診断書 (詳細版)

詳細版では、SWOT 分析とクロス SWOT 分析を活用して、自社の強みや弱み、外部環境による影響の整理・分析を行います。

STEP 1 : SWOT 分析を行う

経営体の状況を理解するために、まずは SWOT 分析を行います。

内部環境として、経営体の強み・弱みを、「経営力」「生産」「財務」「マーケティング」「労務」の機能別に入力 (全角 75 字まで) します。それぞれの機能に分類が難しい場合や機能ごとに記載しきれない場合は、「その他」欄に記載してください。

また、外部環境として、経営体に影響を与える機会・脅威を「政策・経済・社会・技術・競合」に入力 (全角 75 字まで) します。

■SWOT分析															
内部環境	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">強み (Strength)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経営力</td> <td> ① 経営戦略・計画は策定済みで、進捗管理を定期的行なっている ② 経営者の素早い意思決定で規模拡大を進めている </td> </tr> <tr> <td>生産</td> <td> ① 母猪数を増やし、安定した育成を行なっている ② 飼料にはこだわり、地元さんのお米や構築連携を進め上質な飼料を作っている </td> </tr> <tr> <td>財務</td> <td> ① 事故率を大幅に改善し、収益性が毎年二桁改善している ② 管理会計を導入し、変動費と固定費を分け、コストダウン対象を明確にしている </td> </tr> <tr> <td>マーケティング</td> <td> ① 地元の肉屋さんへ直接営業し、受注後取引が拡大している ② 新たな顧客開拓に取り組んでいる </td> </tr> <tr> <td>労務</td> <td> ① 周年雇用による安定労働力の確保を優先し、給与の見直しを進めた ② 就業規則の見直しを実施する </td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td> ① 経営継承を3年後に実施予定 ② 地域養豚農家の若手幹事として活動している ③ </td> </tr> </tbody> </table>	強み (Strength)		経営力	① 経営戦略・計画は策定済みで、進捗管理を定期的行なっている ② 経営者の素早い意思決定で規模拡大を進めている	生産	① 母猪数を増やし、安定した育成を行なっている ② 飼料にはこだわり、地元さんのお米や構築連携を進め上質な飼料を作っている	財務	① 事故率を大幅に改善し、収益性が毎年二桁改善している ② 管理会計を導入し、変動費と固定費を分け、コストダウン対象を明確にしている	マーケティング	① 地元の肉屋さんへ直接営業し、受注後取引が拡大している ② 新たな顧客開拓に取り組んでいる	労務	① 周年雇用による安定労働力の確保を優先し、給与の見直しを進めた ② 就業規則の見直しを実施する	その他	① 経営継承を3年後に実施予定 ② 地域養豚農家の若手幹事として活動している ③
	強み (Strength)														
	経営力	① 経営戦略・計画は策定済みで、進捗管理を定期的行なっている ② 経営者の素早い意思決定で規模拡大を進めている													
	生産	① 母猪数を増やし、安定した育成を行なっている ② 飼料にはこだわり、地元さんのお米や構築連携を進め上質な飼料を作っている													
	財務	① 事故率を大幅に改善し、収益性が毎年二桁改善している ② 管理会計を導入し、変動費と固定費を分け、コストダウン対象を明確にしている													
	マーケティング	① 地元の肉屋さんへ直接営業し、受注後取引が拡大している ② 新たな顧客開拓に取り組んでいる													
	労務	① 周年雇用による安定労働力の確保を優先し、給与の見直しを進めた ② 就業規則の見直しを実施する													
その他	① 経営継承を3年後に実施予定 ② 地域養豚農家の若手幹事として活動している ③														
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">弱み (Weakness)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経営力</td> <td> ① 後継者が一人で経営、生産を仕切っているため負担が増大している ② </td> </tr> <tr> <td>生産</td> <td> ① 豚舎の動線が悪く、大掛かりな改善が必要になっている ② 事故率の発生 </td> </tr> <tr> <td>財務</td> <td> ① 積極的な投資展開のために借入金が増えすぎた (まだ適正範囲内) ② コスト構造の改善を行う必要がある </td> </tr> <tr> <td>マーケティング</td> <td> ① 直接消費者への販売を検討しているが、人がいなく頓挫している ② </td> </tr> <tr> <td>労務</td> <td> ① 2名の雇用確保を行う必要がある ② 自社労働形態に合った就業規則の見直しを行う </td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td> ① 父親・母親の高齢化による労働効率の低下 ② ③ </td> </tr> </tbody> </table>	弱み (Weakness)		経営力	① 後継者が一人で経営、生産を仕切っているため負担が増大している ②	生産	① 豚舎の動線が悪く、大掛かりな改善が必要になっている ② 事故率の発生	財務	① 積極的な投資展開のために借入金が増えすぎた (まだ適正範囲内) ② コスト構造の改善を行う必要がある	マーケティング	① 直接消費者への販売を検討しているが、人がいなく頓挫している ②	労務	① 2名の雇用確保を行う必要がある ② 自社労働形態に合った就業規則の見直しを行う	その他	① 父親・母親の高齢化による労働効率の低下 ② ③	
弱み (Weakness)															
経営力	① 後継者が一人で経営、生産を仕切っているため負担が増大している ②														
生産	① 豚舎の動線が悪く、大掛かりな改善が必要になっている ② 事故率の発生														
財務	① 積極的な投資展開のために借入金が増えすぎた (まだ適正範囲内) ② コスト構造の改善を行う必要がある														
マーケティング	① 直接消費者への販売を検討しているが、人がいなく頓挫している ②														
労務	① 2名の雇用確保を行う必要がある ② 自社労働形態に合った就業規則の見直しを行う														
その他	① 父親・母親の高齢化による労働効率の低下 ② ③														
外部環境	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">機会 (Opportunity)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>政治・政策・経済・社会・技術・競合</td> <td> ① 出荷価格の改善による販売機会の増大 ② 豚肉需要は一層の高まり ③ ④ ⑤ </td> </tr> </tbody> </table>	機会 (Opportunity)		政治・政策・経済・社会・技術・競合	① 出荷価格の改善による販売機会の増大 ② 豚肉需要は一層の高まり ③ ④ ⑤										
	機会 (Opportunity)														
	政治・政策・経済・社会・技術・競合	① 出荷価格の改善による販売機会の増大 ② 豚肉需要は一層の高まり ③ ④ ⑤													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">脅威 (Threat)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>政治・政策・経済・社会・技術・競合</td> <td> ① 豚熱などの発生 ② 輸入豚肉が増える ③ 近隣生産者の廃業による地域生産者の減少 ④ ⑤ </td> </tr> </tbody> </table>	脅威 (Threat)		政治・政策・経済・社会・技術・競合	① 豚熱などの発生 ② 輸入豚肉が増える ③ 近隣生産者の廃業による地域生産者の減少 ④ ⑤										
	脅威 (Threat)														
	政治・政策・経済・社会・技術・競合	① 豚熱などの発生 ② 輸入豚肉が増える ③ 近隣生産者の廃業による地域生産者の減少 ④ ⑤													

STEP 2 : クロス SWOT 分析を行い、戦略を立案する

強み・弱み・機会・脅威の 4 項目を組み合わせたクロス SWOT 分析を行い、目指すべき方向性や取り組むべき内容などを入力（全角 87 文字まで）します。



■クロスSWOT分析

強み × 機会	弱み × 機会
① 母豚を増やし、出荷頭数を増やす	① 労働力不足による時間外労働が増え、コスト増になる可能性が高く、飼育工程の改善に取り組む必要がある
② 増やした出荷数を販売できる販売先を確保する	② 雇用促進を行うためにも就業規則の見直しと給与制度の設定を行う
③ 事故率の減少による生産コストの削減で、利益のさらなる確保を行う	③
④ 経営継承実現のために、改めて事業計画と継承計画の作成を行う	④
⑤ 高品質な豚肉を適正な価格で仕入れてくれるレストランの開拓を行う	⑤
強み × 脅威	弱み × 脅威
① 地域の若手中心経営体ネットワークを活用し労働力の確保に取り組む	① 特に取り組みことはない
②	②
③	③
④	④
⑤	⑤

STEP 3 : 「農業経営における主な問題点」を記載する

SWOT 分析 及び クロス SWOT 分析の結果から、農業経営における解決すべき主な問題点を入力します。

農業経営における主な問題点
<p>経営継承を睨み積極的な規模拡大を行なっている。投資計画も作成し、十分な検討を重ね行う予定となっている。しかし、どんなに綿密な計画を立てても、不可抗力による目標達成阻害要因が発生することになるため、最大限・最短での取り組みではなく、時間軸をより考慮したものへの変更が必要と考えている。</p> <p>急な拡大によって人手不足が発生しているので、雇用の確保を検討すべきで、集落内にこだわることなく行うようアドバイスが必要である。</p>

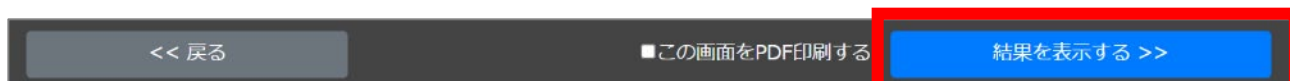
STEP 4 : 「本診断書」を登録し、「総合診断書」へ

入力が完了したら、画面右下の「結果を表示する >>」をクリックし、保存します。

本診断書を出力する場合は、「結果を表示する >>」の左にある「 この画面を PDF 印刷する」のチェックボックスにチェックを入れた後に「結果を表示する >>」をクリックすることで、印刷画面が表示されます。

PDF ファイルで保存する場合は、この印刷画面でプリンターとして「Microsoft Print to PDF」等を選択することで保存できます。

クリック後に表示されるシートは、「総合診断書」です。



7-5 総合診断書

総合診断は、予備診断書・財務分析シート・機能別チェックリスト・本診断書の結果を踏まえ、「経営全体の現在像と目指すべき将来像」を導き出す包括的な診断です。

総合診断書は、現状の経営状況をグラフや表を用いて視覚的に明示するとともに、改善に向けたアクションプランなどを記載し、今後どのように課題を解決していくのかを、相談者に対して具体的に提案・説明するための資料です。

STEP 1：「経営情報」を確認する

予備診断書の「経営体概要」から自動転記されますので、記載内容に間違いがないか確認します。

総合診断書			
経営情報			
法人名・屋号：	株式会社〇〇ファーム	代表者名：	農業 太郎
所在地：	〇〇県〇〇市〇〇町字〇〇XXXX	経営形態：	法人経営
営農類型・作目：	酪農, 肉用牛, 養豚, 養鶏, その他畜産		
事業概要：	養豚農家		

STEP 2：「診断結果の概要及び改善提案」を入力する

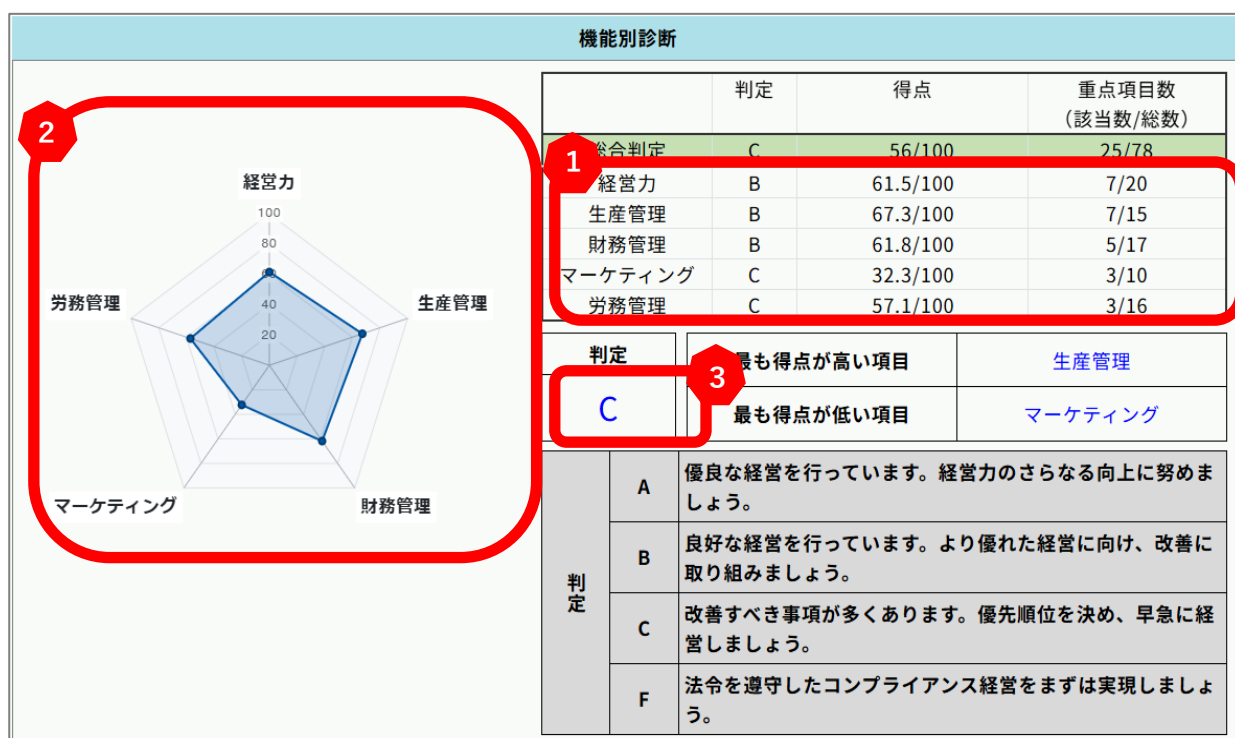
診断結果と改善提案の方向性を入力（全角 700 文字まで）します。なお、選択した本診断書の種類（簡易版 or 詳細版）により、入力方法が異なります。

- ◆本診断書（簡易版）を選択 … [p.40 本診断書 STEP 4](#) の内容が自動転記（編集可能）
- ◆本診断書（詳細版）を選択 … 手動入力

診断結果の概要及び改善提案
母豚を増やし、出荷頭数を増やす 増やした出荷数を販売できる販売先を確保する 事故率の減少による生産コストの削減で、利益のさらなる確保を行う 経営継承実現のために、改めて事業計画と継承計画の作成を行う 高品質な豚肉を適正な価格で仕入れてくれるレストランの開拓を行う 地域の若手中心経営体ネットワークを活用し労働力の確保に取り組む

STEP 3 : 「機能別診断」を確認する

機能別チェックリストの結果が自動的に計算・評価され、レーダーチャートと得点表で表示されます。



- 1 機能別チェックリストの結果を得点化（100点換算）し、A～C、Fで判定します。
重点項目において、該当する項目のうち3点又は5点を獲得できた項目数を表示します。
- 2 上記1で得点化された機能別チェックリストの結果をレーダーチャートで表示します。
- 3 総合判定をA～C、Fで表示します。

◆機能別チェックリストの得点の算定方法について

- ・重点項目の得点は2倍に換算します。
- ・機能別チェックリストごとに相談者の得点（2倍換算したものを含む。）を合計します。
- ・合計した得点を100点に換算（相談者の得点/最大得点（該当なし項目を除く）×100）します。
- ・算出された得点の小数第一位を四捨五入します。

◆機能別チェックリストの判定について

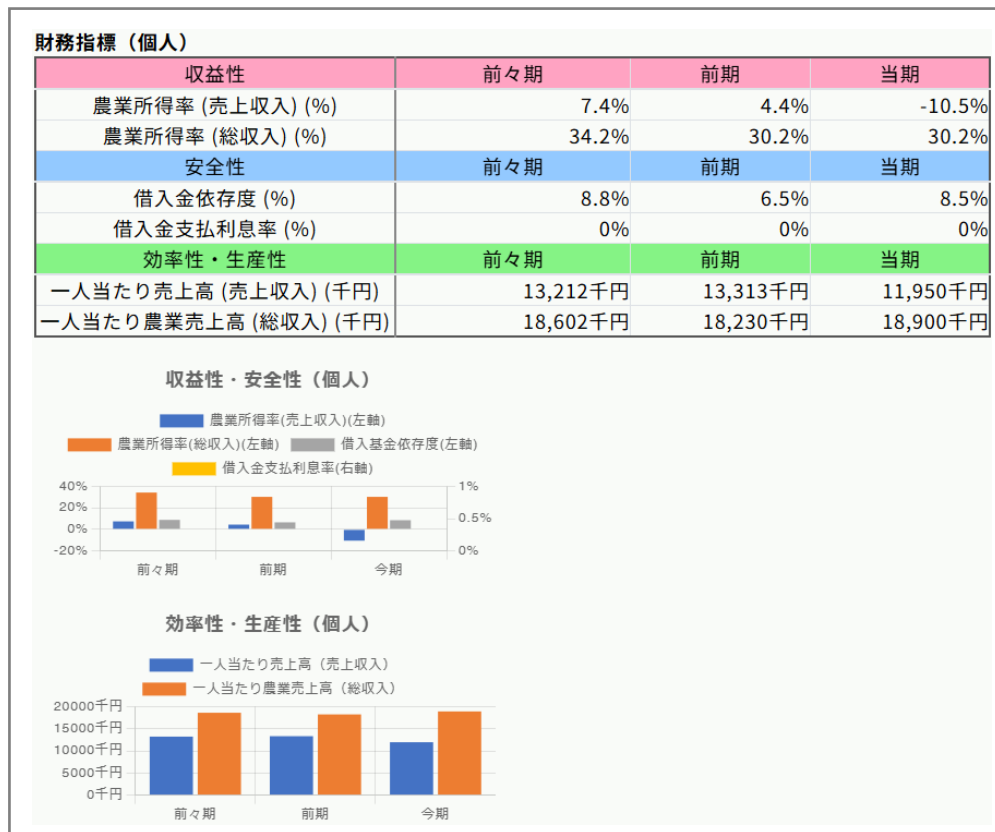
判定	判定結果	点数範囲
A	優良な経営を行っています。経営力のさらなる向上に努めましょう。	80点以上～100点
B	良好な経営を行っています。より優れた経営に向け、改善に取り組みましょう。	60点以上～80点未満
C	改善すべき事項が多くあります。優先順位を決め、早急に経営改善しましょう。	0点～60点未満
F	法令を遵守したコンプライアンス経営をまずは実現しましょう。	法令遵守が必要

- ・法令関連項目は、1つでも0点があると、判定が「F」となります。

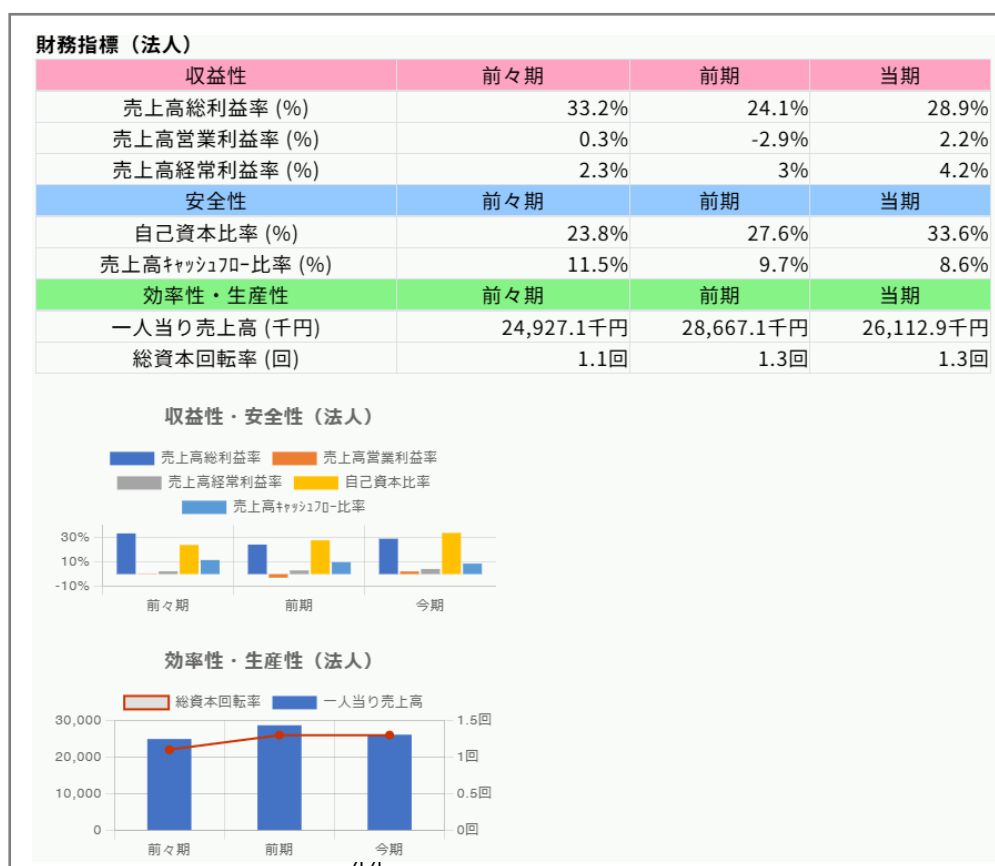
STEP 4：財務指標の表とグラフを確認する

財務分析シートで算出された収益性、安全性及び生産性・効率性の財務指標の数値が、自動的に表とグラフで表示（個人経営又は法人経営の別）されます。

（個人経営）



（法人経営）



STEP 5 : 「改善に向けた取組と目標」を記載する

STEP 2 から STEP 4 までの結果を踏まえて、優先順位の高いものから目標を設定し、その目標の達成に向けた「具体的なアクションプラン」を入力（アクションプランは全角 50 字まで、目標は全角 25 字まで）します。

「目標とする経営状況」について、「当期」には財務分析シートから自動転記（個人経営又は法人経営の別）されます。3 年後・5 年後の経営規模から導き出される収益性、安全性及び生産性・効率性を予測し、目標値を入力します。

改善に向けた取組と目標			
優先順位	具体的なアクションプラン	目標	
1	母豚を増やし、出荷頭数を増やす	今年度中に、母豚を200頭から220頭へ増やす	
2	増やした出荷数を販売できる販売先を確保する	目標2社獲得	
3	事故率の減少による生産コストの削減で、利益のさらなる確保を行う	現在の事故率20%を10%以下にする	
4	経営継承実現のために、改めて事業計画と継承計画の作成を行う	専門家派遣事業を活用し今年度中に計画を作成する	
5	高品質な豚肉を適正な価格で仕入れてくれるレストランの開拓を行う	食肉卸会社社長と同行し、2社開拓する	
6	地域の若手中心経営体ネットワークを活用し労働力の確保に取り組む	地域のリクルートイベントに3回/年参加し雇用促進を	
7			
8			
9			
10			

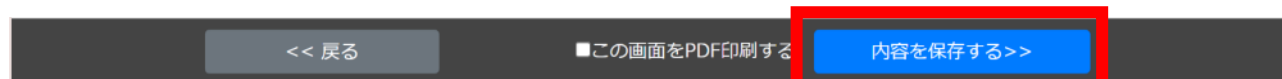
目標とする経営状況（法人）			
経営規模	当期	3年後	5年後
売上高 (千円)	182,790千円	200000 千円	220000 千円
従業員数 (人)	7 人	8 人	8 人
収益性	当期	3年後	5年後
売上高総利益率 (%)	28.9%	%	%
売上高営業利益率 (%)	2.2%	%	%
売上高経常利益率 (%)	4.2%	%	%
安全性	当期	3年後	5年後
自己資本比率 (%)	33.6%	34.0 %	35.0 %
売上高キャッシュフロー比率 (%)	8.6%	86.0 %	86.0 %
効率性・生産性	当期	3年後	5年後
一人当たり売上高 (千円)	26,112.9千円	25000 千円	27500 千円
総資本回転率 (回)	1.3回	13.0 回	13.0 回

STEP 6 : 「総合診断書」を登録し、診断結果を保存する

入力が完了したら、画面右下の「内容を保存する>>」をクリックし、保存します。

総合診断書を出力する場合は、「内容を保存する>>」の左にある「 この画面を PDF 印刷する」のチェックボックスにチェックを入れた後に「内容を保存する>>」をクリックすることで、印刷画面が表示されます。

PDF ファイルで保存する場合は、この印刷画面でプリンターとして「Microsoft Print to PDF」等を選択することで保存できます。



8 過去の経営診断を活用する

(1) 既存データの検索・修正

- ① TOP 画面 (<https://agri-diagnosis.maff.go.jp/>) で、ユーザーID・パスワードを入力し、ログインします。



The screenshot shows the login page of the Agricultural Business Diagnosis System. At the top, there is a navigation bar with the system name and links for '操作方法・解説 (PDF)' and 'よくあるご質問'. A 'お問い合わせ' button is also present. The main heading is '農業経営診断システム'. Below this, there is a login form with two input fields: 'ユーザーIDを入力して下さい' and 'パスワードを入力して下さい'. A link for 'ユーザーID・パスワードを忘れた方はこちら' is provided. A red box highlights the 'ログイン' button.

- ② 本システムを利用する方の所属するグループを選択してください。選択すべきグループが不明な場合や、選択肢に該当するグループが無い場合は、管理者へ連絡いただき作成を依頼してください。



The screenshot shows the 'グループ選択' (Group Selection) page. It features a dropdown menu with the selected option '長野県農業経営・就農支援センター'. Below the dropdown is a blue '決定' (Decide) button.

- ③ トップページ画面で、「既存データの検索・修正」をクリックします。

トップページ

新たに経営診断を開始します
相談番号を新規で発行します。
新規診断

過去に診断済の農業者はこちらから検索
入力データの修正や、過去のデータから新しい年度のデータを作成できます。
既存データの検索・修正 複写して診断

- ④ データ検索画面に検索したい相談者情報を入力し、検索ボタンをクリックしてください。

データ検索

ユーザーID

年度 ▼ 年

法人番号

代表者フリガナ

代表者名

所在地〒

所在地

電話番号

登録日 年/月/日 ☐ ~ 年/月/日 ☐

更新日 年/月/日 ☐ ~ 年/月/日 ☐

検索

- ③ 診断データ参照画面に、該当する診断が表示されますので、参照したい診断の登録済データを選択肢、クリックしてください。自身が作成した診断データのみならず、同じユーザー・グループに所属する他の専門家等が作成した診断データも表示され、閲覧・編集が可能になります。

診断データ参照							
相談番号	経営形態	代表者名	年度	登録済データ			最終更新日
XXXXX...XXX XXX	個人	〇〇 〇〇	2024	予	財	本	2024/12/06
XXXXX...XXX XXX	法人	〇〇 〇〇	2024	予	財	本	2024/12/06
XXXXX...XXX XXX	法人	〇〇 〇〇	2024	予	財	本	2024/12/06
XXXXX...XXX XXX	個人	〇〇 〇〇	2024	予	財	本	2024/12/04
XXXXX...XXX XXX	個人	〇〇 〇〇	2024	予	財	本	2024/12/04

◆登録済データのアイコンについて

- 予** : 予備診断
- 財** : 財務分析シート
- 本** : 本診断書
- 総** : 総合診断書

- ⑥ 診断データが表示されますので、情報の更新などを行ってください。

予備診断書			
1 経営体概要			
経営形態 ?	<input type="radio"/> 個人経営 <input checked="" type="radio"/> 法人経営 <input type="radio"/> その他	法人番号 ?	1234567890123
フリガナ ?	カ) 〇〇ファーム		
法人名・屋号 ?	株式会社〇〇ファーム		
フリガナ ?	ノウギョウ タロウ		
代表者名 ?	農業 太郎		
代表者の性別 ?	<input checked="" type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性 <input type="radio"/> その他		
所在地〒 ?	123-4567	<input type="text" value="所在地を検索"/>	
所在地 ?	〇〇県〇〇市〇〇町字〇〇XXXX		
電話番号 ?	090-0000-0000		
メールアドレス ?	XX@XX.com		
資本金 ?	3,000 千円	決算月 ?	2024年05月 <input type="checkbox"/>
生年月日 ?	1954/01/01 <input type="checkbox"/>	71 歳	創業・就農年月 ? 1960年04月 <input type="checkbox"/>
法人設立年月 ?	1990年06月 <input type="checkbox"/>	構成戸数 (任意団体) ?	1 戸 (集落数)

(2) 既存データを複写して新たに診断 ※予備診断書・財務分析シートのみ複写

- ① トップページ画面で、「複写して診断」をクリックします。

トップページ

新たに経営診断を開始します
相談番号を新規で発行します。

新規診断

過去に診断済の農業者はこちらから検索
入力データの修正や、過去のデータから新しい年度のデータを作成できます。

既存データの検索・修正 複写して診断

- ② データ検索画面に複写したい相談者情報を入力し、検索ボタンをクリックします。

データ検索

ユーザーID

年度 年

法人番号

代表者フリガナ

代表者名

所在地〒

所在地

電話番号

登録日 ~

更新日 ~

検索

③ 診断データ参照画面に、該当する予備診断が表示されます。自身が作成した診断データのみならず、同じユーザー・グループに所属する他の専門家等が作成した診断データも表示されますので、複写したい診断の 登録済データをクリックします。

診断データ参照					
相談番号	経営形態	代表者名	年度		最終更新日
XXXXX...XXX XXX	個人	〇〇 〇〇	2024	予備診断を複写して新規作成	2024/12/06
XXXXX...XXX XXX	法人	〇〇 〇〇	2024	予備診断を複写して新規作成	2024/12/12
XXXXX...XXX XXX	法人	〇〇 〇〇	2024	予備診断を複写して新規作成	2024/12/11
XXXXX...XXX XXX	個人	〇〇 〇〇	2024	予備診断を複写して新規作成	2024/12/15

④ 「何年度のデータを作成しますか？」の画面が表示されますので、該当する年度を半角数字で入力し、「OK」をクリックします。

agri-diagnosis.maff.go.jp の内容					
何年度のデータを作成しますか？ (半角数字のみ)					
相談番号	経営形態		年度		最終更新日
XXXXX...XXX XXX	法人			予備診断を複写して新規作成	2024/12/06
XXXXX...XXX XXX	法人			予備診断を複写して新規作成	2024/12/12
XXXXX...XXX XXX	法人	〇〇 〇〇	2024	予備診断を複写して新規作成	2024/12/11
XXXXX...XXX XXX	個人	〇〇 〇〇	2024	予備診断を複写して新規作成	2024/12/15

- ⑤ 診断データが複製されますので、新たな診断書を作成します。

予備診断書			
1 経営体概要			
経営形態 ?	<input type="radio"/> 個人経営 <input checked="" type="radio"/> 法人経営 <input type="radio"/> その他	法人番号 ?	1234567890123
フリガナ ?	カ) ○○ファーム		
法人名・屋号 ?	株式会社○○ファーム		
フリガナ ?	ノウギョウ タロウ		
代表者名 ?	農業 太郎		
代表者の性別 ?	<input checked="" type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性 <input type="radio"/> その他		
所在地〒 ?	123-4567	<input type="button" value="所在地を検索"/>	
所在地 ?	○○県○○市○○町字○○XXXX		
電話番号 ?	090-0000-0000		
メールアドレス ?	XX@XX.com		
資本金 ?	3,000	千円	決算月 ? 2024年05月 <input type="checkbox"/>
生年月日 ?	1954/01/01 <input type="checkbox"/>	71 歳	創業・就農年月 ? 1960年04月 <input type="checkbox"/>
法人設立年月 ?	1990年06月 <input type="checkbox"/>	構成戸数 (任意団体) ?	1 戸 (集落数)

9 用語説明

(五十音順、アルファベット順)

用語	説明
クロス SWOT 分析	SWOT 分析の結果を掛け合わせ、具体的な戦略オプションを導き出す分析手法。具体的には、「強み×機会」「強み×脅威」「弱み×機会」「弱み×脅威」の4つの視点から戦略を検討します。
法人番号	国税庁が1法人につき1つ指定する、13桁の番号。 ◆国税庁ホームページ (https://www.houjin-bangou.nta.go.jp/setsumei/)
BCP 計画	災害等の緊急事態が発生した際に重要な業務を中断させず、仮に中断したとしても早期に復旧させるための事業継続計画 (Business Continuity Plan : BCP)。
EC サイト	インターネット販売を行うウェブサイト。
ICT 活用	情報通信技術 (Information and Communication Technology) を活用した取組のこと。例えば、センサーを活用した遠隔での圃場の状況把握、気象データ等に基づく農作業の適期情報や病害虫の情報システムなど挙げられる。
SWOT 分析	強み・弱み(内部要因)、機会・脅威(外部要因)を分析し、現状を把握するフレームワーク。SWOT は以下の4つの要素の頭文字をとったもの。 ① Strengths (強み)、② Weaknesses (弱み)、③ Opportunities (機会)、④ Threats (脅威)